

大阪消防

OSAKA SHOBO

平成29年

10

月号

No.811



食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F 難波個室居酒屋 生き意気・さくらさくら
11F～5F サウナ&カプセルアムザ
西日本最大590室！本格派サウナ
展望露天風呂、温泉『萬の湯』
4F ミック&インターネットカフェ アプレシオ
地域最安値！アイ&ソフト食べ放題
3F ビッグエコー・鶴屋亀八・さんばち屋
2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー
1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎
大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



団体割引適用で割安！
※③を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

<p>① 30% 消防職員医療保険 医療保険基本特約付・疾病保険特約 ・傷害保険特約セット 団体総合保険 募集時期 ■ 7～8月 2～3月 2～4月(新採用プラン)</p>	<p>② 30% 消防職員傷害保険 総合補償特約セット 普通傷害保険・家庭傷害保険 募集時期 ■ 12～2月 7～8月</p>	<p>③ 3,200円 消防職員賠償責任保険 救命救急士の 専門業務も補償！ 公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保 特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料 支払に関する特約条項) 募集時期 ■ 12～2月 7～8月</p>
<p>④ 20% 消防職員がん保険 団体総合生活保険 (がん補償) 募集時期 ■ 12～3月</p>	<p>⑤ 約40% 消防退職者医療保険 団体総合生活保険 (医療補償) 募集時期 ■ 12～3月</p>	

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会 損害保険取扱代理店
 〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)



尾崎 裕

大阪市連合防火協力会会長
大阪ガス株式会社 会長

会社設立の目的は「火災防止」

当社と消防の関係は古く、120年前の会社設立の時にまで遡ります。当社は1897(明治30)年に会社を立ち上げましたが、設立目的の一番初めに掲げられたのが「大阪の火災防止」でした。

当時、大阪では造幣寮(現・造幣局)にガス灯が点灯されていましたが、一般家庭の明かりには、主に石油ランプや燭台が使われていました。この時代の石油ランプは燃料費が安く持ち運びが簡易なため、屋内灯として広く普及していましたが、反面、転倒による火災の危険が伴いました。市内でも、家人が石油ランプを誤って転倒させて出火を招いてしまうことが多く、「天満焼け」と呼ばれた北区の大火もそれが原因でした。この大規模火災がきっかけで、大阪に公設消防署が設置されるようになったのはご承知の通りです。

こうした社会不安が募る中、当時の石油ランプをガス灯に代えることで火災が減らせないかと考えた当社は、安全で廉価なガスを市民に供給するため、ガス会社の設立を願い出ました。大阪府知事あてに会社設立を申請した書面には、「大阪市内では毎晩のように火災が発生しているが、その原因のほとんどは石油ランプである。火災による市民の生命、財産の損失、この憂いを除くことができるのはガス灯のほかない」とあります。

ガス会社は、ユーティリティ(Utility)という言葉に表されるように、「お客さまのお役に立つ」ことを使命としています。しかも一人ではなく、多くのお客さまに同じように役に立つ、つまり「社会の役に立つ」こと

が何より大切な使命です。

ユーティリティも、昔は電気、ガスの各事業者が、それぞれ単一の製品・サービスを提供するだけでしたが、今は多様化するニーズに対応するため、ガスも電気も同時に提供するようになり、エネルギーの垣根を超えた競争が激しさを増しています。このように、「社会の役に立つ」ということの中身やそれを実現する方法は時代とともに変わりますが、その根底にある公益事業の精神は、これまでも、そして、これからも変わることはありません。

ガス灯普及による火災予防を目的の一つとして、当社が設立されてから120年が経ちます。先人の思いを顧みるにつけ、現在、大阪市消防局の皆様が、火災はもとよりあらゆる災害から大阪市民の生命・身体・財産を守る役割、言わば、都市生活における究極の“ユーティリティ”を担っておられることに、改めて深く敬意を表します。



第46回全国消防救助技術大会

8月23日
宮城県総合運動公園 グランディ・21



第46回 全国消防救助技術大会 仙台・宮城 2017

主催：一般財団法人全国消防協会・仙台市 後援：総務省消防庁・全国消防長会・宮城県





水上の部



平成29年度全国優良消防職員表彰式 8月22日 ホテルメトロポリタン仙台



辰巳 正氏 大岡 晃氏

菅原 正二氏 藤井局長 櫻井 隆氏

小根森 豊和氏

平成29年度大阪市消防局総合防災訓練

9月1日
消防局

上町断層帯を震源とする直下型地震が発生し、最大震度6強を観測。大阪市域に甚大な被害が発生したとの想定により、警防本部各班及び各大隊が事前に大阪市消防局震災消防計画に基づく資料、状況予測及び被害想定により事前訓練等を行い、検証することにより大規模多発災害の対応能力の向上及び効果的かつ効率的な震災活動に資することを目的として実施した。



表紙：慶沢園／編集部

01	このは	会社設立の目的は「火災防止」	尾崎 裕
02	グラビア	第46回全国消防救助技術大会	編集部
04	グラビア	平成29年度大阪市消防局総合防災訓練	編集部
05	コンテンツ		編集部
06	いっしょい、大阪消防です!	筒井 啓介さんを訪ねて	編集部
09	ニュースカプセル	かっこよかった!平尾昌晃さん	藤井英一 イラスト・山田いつか
10	スポーツ・ア・ラ・カルト	本塁打全盛の高校野球 過度の投手受難が心配だ	北村弘一
12	レスキューナースからのメッセージ (19)	子ども達の限りないパワーを感じる!!	辻 直美
13	救急安心センターおおさかだより		救急課
13	災害概況		警防課
14	コマンドアイ	災害現場でのサポート役として	司令課
16	調査鑑識	電子レンジの火災について (1)	調査鑑識
18	レスキューボイスII	～陸・水・空の三位一体救助～ (No. 4)	警防課
20	特集	方面隊のあゆみ～創設50年を迎えて～ (1)	方面隊
22	第46回消防救助技術近畿地区指導会	出場隊員コメント	警防課
27	環状線		各所属
34	大阪の消防NEWS	池田市・大東四條畷・柏原羽曳野藤井寺消防組合・和泉市各消防本部	
36	職務①	5Sのススメ	企画課
38	職務②	平成28年中の規制対象物における火災発生状況 (3)	予防課
40	職務③	予防部めぐり 南海トラフ地震対策の消防計画について	予防課
42	キセイカナビ	建築基準法施行令「特別避難階段の構造」について～昇任試験対策編～	規制課
43	自衛消防隊紹介	塩野香料株式会社	淀川区
43	女性防火クラブだより		都島区
44	大阪市消防局災害活動支援隊	籾倉 優司	総務課・警防課
45	健康ダイアリー	健診結果を活用しましょう!	人事課
46	おもしろ体力測定 (No. 9)	長座体前屈 (ハムストリングスと腰部の柔軟性)	高度専門教育訓練センター
47	親睦会だより	平成29年度親睦会ボウリング大会結果	大阪市消防職員親睦会
48	大阪めぐり (表紙)・編集室		編集部
表3	大阪市防火管理協会からのお知らせ		編集部

大黒 誠和さんからの紹介 『 筒井 啓介さんを訪ねて 』



● 石匠位

筒井 啓介

プロフィール

昭和45年2月16日
大阪府富田林市に生まれる
大学卒業後、2年間修業の後家業を継ぐ

創業から、この場所で

創業は明治33年で、当時からずっとこの場所で営業させて頂いております。私で四代目です。最近、墓石専門のようになっていますが、20年前位までは、工務店さんからの依頼がありまして、建前の柱の土台(礎石)や、玄関やポーチの板張り等の注文もありましたが、最近予算都合上スタイルが変わってしまいました。

築石材の工事が多い所でしたから、庭石や土台(礎石)、玄関等の板張り等の整えて作業する知識や技術を卒業後2年間修業させてもらって、家業を継ぎました。

先々代のお爺さんの時代は、彫りも磨きも全て手作業でやりましたから大変だったと思います。今は、手作業じゃなく、砥石を替えて5回位磨きを掛けます。時間がかかりませんが、昔に比べて楽になりました。パフで仕上げた光沢を出します。

蓮の葉を彫るのも、電動工具がありますから以前より早

石材は御影石です

くなりました。今は工房の方で機械作業で行っています。

墓石は、俗に御影石と言われている硬質の花崗岩です。産地によって、白色、淡紅色、濃青色、黒色等の石があります。大理石は酸化に弱く風化するので墓石には使いません。玄関内部の装飾等に使用されています。

原石を岩山や岩盤から切り出すのは山石屋さんの仕事で、原石に水を掛けて色を観、山傷(クラック)、筋むらを避けて良い所だけを切り出します。部分的に発破をかけますので危険も伴います。今は石工用のドリルがありますので、穴をあけるのも昔に比べれば楽になったと思います。以前は、鑿で穴も手で彫ってましたから大変だったし、危険な作業だった事でしょう。

国内にも産地は沢山ありますが昔の名残で重たい物ですから、関西では四国の香川・高松・愛媛や岡山県、しまなみ海道の白石島・倉橋島や伊

予大島等で採れる石には鳥の名前が付いています。高松で採れる「庵治石細目(あじいしこまめ)」は最高級の御影石で、世界一高価な石になります。茨城県をはじめ関東にも良い石はありますし、商社を通せば入って来ますが、馴染みのある四国や岡山の石を使います。

最近中国から輸入される石も見掛けますが、中国で加工して出荷するんですが、多少のスジや白い玉や黒い玉の混ざり物があれば送り返します。勿論、こちらの墓石となるものから美しくなければなりません。他国にも輸出しているようですが、日本が一番厳しいので気を使う様です。また、中国では3Kの職場なんです。北京オリンピックがあつてから大きく変わりました。旧正月はゆっくり休みを取る様になり、注文は早い目にしないと間に合わない事になります。

注文を頂いて買い付けに

六曜の大安や先勝の日の指

定がなければ好天を選んで据え付け工事に掛かります。

大安、先勝等六曜に拘りのある施主さんの場合は、テントを張ってでも工事を行います。基本的には雨天の工事は避けず、基礎工事をきっちり仕上げをしたいからで、コンクリートを作るのにも気を使っています。丈夫な基礎を仕上げてから、お墓本体の据え付けをさせて貰いますが、全て整えるまで、気を抜く事はありません。重たいものですから重機の入らない所は、なおさら布団などで保護をして運びます。角などを当てないよう、傷つけないように細心の注意を払います。どうしても日程が整わない場合は、起工式だけは大安にさせて頂いております。

神道さんにはそれぞれの表記文字がありますが、仏法の方は各流派はありますが、形は殆んど一緒です。文字もパソコンのソフトが出来ていますが、私どもでは、書家の先生に全てお願いして手書きしてもらったものを使って彫りあげています。書道とは違う字

体で特徴があり、草書や行書も書いて頂けます。中心のずれは気になるものですが、文字の配置も大切にしています。強弱をつけてサンドブラストを使って彫っています。

石からの注文となりますと、山の方にはどんな石がほしいと注文を出します。

産地に向いて原石の玉石から石目の合うものを探しますから、庵治石細目になりますと4〜5か月は待つて頂く事になります。部どまりで石目を合わせるのに苦労する石目の揃いにくい石だから、高価になります。さらに、形にしてから石目を揃えなければなりませんから。

墓は子孫繁栄の象徴

パインレットの写真では判りにくいですが、陳列してあるミニチュアは墓石材を使って精巧に作ってありますので、立体的に見て頂けてイメージがし易いようにしてあります。

昔からある墓地は雑然としている所が多いですが、新し

く作られた墓地は整備されて整然としています。お墓は南向きか東向きですが、向き合わせの墓地の場合は西向きもありです。北向きは避けず。

仏石(墓石の上の石)に加工しましても、正面と裏面、左右両面は其々が似ています。基本は、仏石の幅が八寸(24cm)で、上台、下台、花立、水鉢で一式になります。現場に来られると、重量感が判ってもらえると思います。

外装や巻き石は、特別の依頼がない場合は大体において最高級のものを使いません。最近はお墓自体が小さくなってきていますから、80万から200万円位です。末代と思つて購入されていますので、きつちりした仕事をしていかなければならないと思つています。

最後に、お寺さんに魂を入れて頂いた後、「良かった」と言つてご満足頂いて礼状を頂くと石屋冥利に尽きます。

金剛山山頂の工事も

金剛山の頂上の転法輪寺さんの、寄付石や石柱等の工事をさせて頂いておりますが、こちらの石工事も半永久的になりますし、50〜60年経った寄付石を見ますと、いい仕事をさせて貰わないか、と思つています。パソコンの文字は簡単に使えますが、やはり千年の歴史がある書道の持つ味わ



いある文字を使わせて貰う事
にしています。

先祖の霊を祀って

ご先祖の霊をお祀りする事は、家族の幸福にもつながりません。立派なお墓を建てられて、お参りされた時にお手入れされると思います。高級な石は密度がきめ細かくて硬く、安い石は柔らかくて吸水率が高いです。墓石は地面に据え付けて雨曝しですので、水を吸い上げます。最初の内は吐き出してくれますが、年数が経つとだんだん黒くなって来ますと風化の始まりです。

普段はタオルで磨いて貰うといいと思います。彫つてある部分は、文字の中で字数の多い文字の場合、浮き出ている部分は島と言いますが、20〜30年経った石を硬いものでこじられると欠ける事がありますので、歯ブラシ程度のもので柔らかくこすつてもらえれば大丈夫です。

青春の1ページ

両親が共働きでしたので、信者ではありませんでしたが近くのPL学園の中学校と高等学校の6年間を全寮制でお世話になりました。

当時のPL学園は、高校野球の最強時代でした。2学年上級に桑田・清原のKKコンビ。同学年に片岡・野村・立浪・橋本、怪我でプロ入りを断念した深瀬と多彩な顔ぶれが揃っていました。野球部の選手とは寮は別でしたが、春夏の甲子園球場での応援には駆り出されました。

夏休みは、8月1日のPLの花火大会の翌朝、2日の5時ころから打ち上げ花火のガラ拾いをしてからシャワーを浴びて帰省します。皆ルンルン気分で作業をしていたと思います。

大阪大会を勝ち上がると、一週間位で寮に戻って応援の練習が始まります。専門の先生が作られたプログラムに沿って指揮者の合図に合わせて文字のパネルを操作しました。

生徒会の役員もさせて貰いましたし、高校野球を通して良い経験をさせて貰いました。

た。スポーツを通して青春を謳歌しましたが、当時は全体責任として竹刀で叩かれた事もありました。今では、考えられないことですが……。いい思い出になっています。

地元の中学・高校に通った方が友達も増えたでしょうが、PL学園の同級生が全国に散らばっていますので、友人が全国におります。

地元の人達と

家業を継いだ24歳から46歳まで、商工会の青年部に入れて頂きまして、皆さんに良くして頂きました。大阪府下でメンバーの数が一番多くて120名はおられました。今でも70名は居られます。そんな大所帯の部長も経験させて頂き、自身のいい経験になりました。

地元で商売をして居られる人ばかりですから、纏めて事業を進める苦労はありましたが、お互い売人同士で自営業の跡継ぎですから、学びあって、いい仲間として今もお付き合いが来ています。

世相の流れ

2年前NHKの番組で「墓終い」の放送が流れてから、よく問合せがあります。昔から参る方が居られなくなって、無縁さんとなる場合もあつたのですが、最近はお墓を持たない人も居られますし、70代、80代の方達の「子どもさんに負担を掛けたくない」という考え方は、世相の流れかなと思います。



コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第 42 回

かっこよかった！平尾昌晃さん

◎コラムニスト 藤井 英一

1958年日劇ウエスタン・カーニバル

歌手であり作曲家の平尾昌晃さんがこの7月21日に死去した。79歳。慶応高校を中退、1958年に歌手デビュー。プレスリーブームの中、2月の第1回日劇ウエスタン・カーニバルで、ミックキー・カーチスさん、山下敬二郎さんとのロカビリー3人男が、ステージ下に殺到するファンの嬌声と紙テープに埋もれた姿が、つい昨日のようでもある。

戦後復興をなしたとげた日本が、高度経済成長にまい進するスタート期。東京タワーが完成、日劇のある有楽町を歌ったフランク永井さんの「有楽町で逢いましょう」がヒット。長嶋茂雄さんが巨人入り、その巨人が西鉄相手の日本シリーズで3勝後に4連敗。ドラマチックな時代だった。

「瀬戸の花嫁」「夜空」

「僕のかわいいミヨちゃん……」で始まる「ミヨちゃん」を作曲、甘い歌声で若者の心をキャッチ。60年代以降、作曲家としても名を馳せた。「よこはま・たそがれ」「わたしの城下町」「霧の摩周湖」など。72年には小柳ルミ子さんの歌う「瀬戸の花嫁」が日本歌謡大賞、73年に五木ひろしさんの歌う「夜空」が日本レコード大賞に選ばれた。「カナダからの手紙」では、畑中葉子さんとのデュエットで歌手現役をアピールした。いつまでもスリムな体形を維持、白いスーツ姿からこぼれるやさしい笑顔がまぶしかった。

「君といつまでも」

「僕らの音楽はスポーツなんだ」といい、「生涯青春、生涯現役」を貫いた平尾さん。「歌は多くの人が声を出して歌ってこそ『歌』だと思おう」と、近年はみんなで歌うコンサートを重ねていたという。かつて長期療養する平尾さんの心模様を紹介するテレビ・ドキュメントを見た。やさしさと笑顔があふれていた。

俳優で作曲もする加山雄三さん(80)と平尾さんは、同じ慶応高の同世代。キャラクターは違うものの、「生涯青春、生涯現役」は通底しているようだ。「夜空の星」になった平尾さんに贈る言葉は「君といつまでも」。



イラスト：山田いつか

本塁打全盛の高校野球

過度の投手受難が心配だ

毎日新聞大阪本社編集委員

北村弘一

PROFILE ● きたむら・こういち
毎日新聞大阪本社編集委員。
1964年滋賀県生まれ。東京運動部時代に2002年サッカー・ワールドカップ日韓大会を取材。秋田支局次長、北海道報道部副部長、鳥取支局長などを経て、今年春まで大阪運動部長。趣味はマラソン。

この原稿を書いているのは、カナダ・サンダーベイで野球のU-18ワールドカップが開かれている9月初旬だ。日本代表には、この夏の甲子園出場こそ逃したが高校時代最多本塁打の110本(9月5日現在)で注目される清宮幸太郎(早稲田実)、夏の甲子園で清原和博の個人本塁打記録を塗り替える6本塁打を放った中村奨成(広陵)、そしてポテンシャルの高さでこの2人を上回るとも言われる安田尚憲(履正社)が顔をそろえる。10月26日のドラフト会議は高校世代のスラッガーが注目を集めそうだ。

この夏の甲子園では大会記録を塗り替える68本のアーチが乱れ飛んだ。これまでの

最多は大阪桐蔭の中田翔(現日本ハム)が活躍した2006年の第88回大会の60本だった。

「野球の華」とも呼ばれる本塁打だが、春夏の甲子園大会では1974年の金属バット解禁以降、進化を続けるパワー野球を抑制する形で歴史を積み重ねてきた。当然のことながら金属バットは耐久性に優れ、必ずしも部費に多くを割けない幾多の高校野球部の経済的負担を軽くし、結果的に野球のすそ野を広げる役割を担ってきたのは言うまでもない。

ただし、金属バット導入後は打撃が試合を決定づける流れが決定的となった。77年の夏の甲子園の本塁打数は初めて20本台に乗り、82年に

は30本台に達した。92年春から甲子園のラッキーゾーンが撤去され、この夏に一時的に14本まで減少したものの、その後バットの軽量化でスイングスピードが上がり、打球のスピードが向上した。

日本高野連は2001年秋からバットの重さを900グラム以上にするなど規定を変更した。バットを重くしてスイングスピードを落とす狙いがあったが、トレーニングの進歩はこの規制も乗り越えていく。06年の夏の甲子園の本塁打は60本の大台に乗った。

07年からは低反発のゴム芯を使用した「低反発球」が導入された。この夏の本塁打数は24本まで減少したが、その効果も徐々に薄れ、12年以降

は毎年30本以上に定着したのが近年の状況だ。高野連によると、今大会も試合球は同じで、高さ4メートルから大理石の床に落として跳ね返る高さが136.0〜147.3センチに収まった球を使っているそうだ。

確かに好投手がいた昨年の夏の甲子園の本塁打は今回より大幅に少ない37本だった。作新学院の今井達也(現西武)や履正社の寺島成輝(現ヤクルト)らはドラフト会議で上位指名された。それほど今大会は「打高投低」の傾向が顕著だった。

それでも打者のパワーアップが飛躍的に進んでいる傾向は疑いがなく、その背景には何があるのだろうか。

大きく変わったのは体格、そして体格の変化に伴いフルスイングが可能になったことだろう。寮のある学校はもちろん、自宅から通う選手でも、大きな弁当箱に白米を詰め、1食3合程度の白米を摂取する食事トレーニングが常識になった。さらにプロテインを飲み、ウエイトトレーニングなどで体を大きくするのが、高校世代でも定着した。

「夏は打たないと勝てない」と多くの強豪校の監督が口を揃えるように、体をつくるための知識や技術が普及したため、身長は低くてもがっしりした体格の選手が増えた。体をつくってスイング量をこなせば、振り切る力はずき、小柄な選手でもスタンドに放り込むパワーが養われる。6本塁打の中村が注目を集めたが、朝日新聞の大会総括によると今大会は複数本塁打を放った選手が13人もいた。また2年生の本塁打が16本もあり、中学など早い時期からこうしたパワー

アップに取り組み傾向を示しているようだ。

準々決勝で3-13で迎えた九回に6点を奪い、天理(奈良)を慌てさせた明豊(大分)や、満塁本塁打の応酬となった盛岡大付(岩手)・済美(愛媛)の三回戦など、甲子園にはもはやセーフティリードという概念がなくなってしまうたかのようだ。送りバント失敗や暴投、捕逸などのバッテリエラーが目立ったのも気になった。

甲子園大会はプレーの質より一戦一戦を確実に勝ち上がるのが重視されるトーナメントの一面も持つ。パワー野球の進化で投手受難の傾向が過度に強まったため、もはや1人の投手が大会を勝ち抜くことは不可能となった。来春からのタイプリーグ制導入も致し方ないだろう。

乱打戦が相次いだ夏の甲子園を見ていて、思い出したのは、日本代表が2006年の第1回大会、09年の第2回を連覇したワールド・ベース

ボール・クラシック(WBC)だった。そこで世界を席巻したのはバントや盗塁、進塁を心がけた打撃を駆使したスモール・ベースボールだった。

トップ選手の手育成にも大きな役割を果たしている甲子園大会だからこそ、いま一度、野球の面白さである小技や、駆け引きの重要性を再認識し、打撃偏重に大きくぶれた環境を見直す時に来ているのではないのか。改めてボールの規格を見直すのも一案だろう。投手

力、攻撃力のほどよいバランスから真のスラッガー、真の好投手が誕生するのだと思う。



「大会記録を塗り替える68本の本塁打が乱れ飛んだこの夏の甲子園大会」



レスキューナース

国際災害レスキューナース
辻直美

からのメッセージ

Vol.19

子ども達の限りない
パワーを感じる!!

9.2-9.3にかけて、吹田市の子ども達20人を連れてサバイバル講座を開催しました。

これは「チームぐんぐん」という吹田市の事業の一環で、リーダーになれる子どもを育成するため、一年間いろいろなことを体験し学ぶものです。

私はこの事業のうち2つを受け持っていて、1つはこの「生き抜く為のサバイバル講座 宿泊編」、もう1つは「看護 de ゴー」という日帰りで防災と看護を学ぶプログラムをしています。

今回は滋賀県高島市にある「もくもくの里」にて、ライフラインをほぼ切った自然の中で生き抜く為の知識と体験をするプログラムを行いました。

親は参加しません。ここが大事です。親がいると「あーでもない」「こーでもない」。挙げ句の果てには「危ない」「ダメ」「こうしなさい」と、あれこれ口出しして、子どもが思考し、体験し、また思考するチャンスを奪ってしまうことが往々にしてあります。

家では出来ない事、やらせてもらえない事、やってみたくて出来なかった事にチャレンジ



するのがこのプログラムの1番の意味なので、一泊二日の内容も、子ども達でミーティングを重ねて決めていきます。

泊まるのもテントで雑魚寝、電気はありません。ここでは懐中電灯にペットボトルを重ねるランタンを作り、使いました。

晩御飯はパッククッキングでやる事にしました。材料の皮をむく、切るのも、やったことがない子ども達に丁寧に教えると……できるんです! もちろん、最初は下手です。しかしコツを教えて何回もやると、あっと言う間に自分のスキルにしてしまいます。

ガスも電気もないので、調理は炭火。火起こしも子ども達にやらせたら、たくましい!

すごく上手に火を起こし、火の管理もやってくれました。(実はボーイスカウトに入っているそうです)。頼られると成長するって、本当なんだなぁとしみじみ思いました。

「おかあさんやったら、させてくれないけど、先生はやれるように教えてくれるし、やらせてくれるから嬉しい」、「出来て嬉しい」。

子ども達のキラキラした目は、まさしく未来を感じます。これからもこんな活動を続けていきたい!

消防と組んで、もっと面白いこと、出来ないかな。吹田市以外からも、オファーが来ないかなと思っています、ぜひオファーくださいね(笑)





先月に引き続き、小児の病気やけがについての事例を紹介します。
 これらは昨年10月頃に救急安心センターおおさかに寄せられた事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出動しました。



【事例1】

2歳女児：18時ごろにけいれんを起こし、その後も様子がおかしい。
 ⇒無熱性けいれん

【事例2】

2歳女児：意識障害があり両上肢のけいれんが治まらない。
 ⇒低血糖発作

【事例3】

12歳男児：サッカーの試合中に相手選手と接触し前額部を打撲。数時間後に嘔吐。
 ⇒脳震とう

特にけいれんが長く続いたり、繰り返して起こる場合には、迷わず119番してください。

～救急安心センターおおさか から～

〈小児救急支援アプリ〉は御存知ですか？

大切なお子さんの症状から救急車を呼ぶべきか？救急相談するべきか？医療機関を受診するべきか？などの緊急性の判断を行うことができます。

また、端末に内蔵されているGPS機能を活用して、現在地から近くの医療機関（大阪府内）の地図表示と医療機関への電話発信までの操作が、そのまま行えるスマートフォン専用の無料アプリです。

※受診前には、必ず医療機関へ連絡してから受診してください。

※「小児救急支援アプリ」で検索し、ダウンロードしてください。



大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ほや						
8月中合計	2	1	10	38	51	4	0	0	12	67
平成29年8月末累計	10	17	108	306	441	41	1	1	141	625
平成28年8月末累計	17	15	109	275	416	40	0	3	110	569
累計比較	▲7	2	▲1	31	25	1	1	▲2	31	56

◎救急概況

	救急出場
8月件数（概数）	19,976
平成29年8月末累計	152,937
平成28年8月末累計	150,400
累計比較	2,537

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成29年8月末累計	2,063	670	3	817
平成28年8月末累計	2,094	757	5	845
累計比較	▲31	▲87	▲2	▲28

様々な事案から災害活動を振り返る

今回のテーマ

災害現場でのサポート役として



はじめに

市内唯一の車両として活動している「活動支援車（SC16）」は、平成15年10月から指令情報センターによる運用を開始している。指令情報センターでの運用となったことで、現場情報をリアルタイムに把握でき、時期を逃さず早期出場する体制を確立することが可能となった。任務にあっては、従前の災害現場における隊員の水分補給活動等に加え、指揮支援活動等指揮本部の補完など多岐にわたり拡大している。出場する判断基準としては、第2出場規模以上の火災及び指揮本部長からの要請並びに警防本部が必要と認める災害等である。また、近年、夏季における全国的な猛暑が続き、消防局としても災害活動時における消防隊員の熱中症対策に取り組み、気象条件によって、第1出場あるいは長時間の限定出場でも早期出場を考慮している。今回は、活動支援車の活動について紹介する。



司令課（指令情報センター）

指揮支援活動

ある昼時、丁士長の受信した119番通報が炎上火災へと発展した。「3階建ての家から煙が出ている」高所カメラを向けると激しい黒煙が上がっていた。同報と思われる119番通報が多数入り、逃げ遅れ情報も入ってきた。「火災指令、〇〇管内、本件、警防部判断第2出場・高所カメラ情報黒煙あり。なお、建物内に要救助者情報あり」活動支援車にも出場指令が入り、指令情報センター員2名が災害現場へ向かう。S主任は勤務班班長から「現場はまだ混乱している状況やから、情報の整理と隊員の水分補給頼むで！」と伝えられ、災害現場及び走行経路を確認し、災害現場へ向かった。

現場到着後、小隊長であるS主任は機関員に「先に指揮本部行って情報整理してくるから、補給活動の準備して」と伝え、指揮本部へ到着報告に向かった。現場は木造3階建住宅の3階から激しい炎と黒煙が噴出しており、東西に隣接する建物へ延焼が進んでいる状況であった。指揮本部長命により、機関員と共に背面の燃焼状況

消防隊の活動状況を確認に向かうと、第1指揮班が指揮卓上に筒先の配備状況を図面に記していた。無線が輻射しており指揮本部へ情報が伝わっていない状況のため、指揮本部へ戻り背面の状況を報告した。その後も指揮本部任務を補完すべく燃焼状況確認、筒先の部署状況確認作業などを行い、火元建物や隣接建物の世帯状況など情報が輻射する中、指揮本部に入ってくる最新情報を警防本部へ随時報告し指揮補助及び情報収集にあたった。また警防本部からヘリコプターの上空映像による延焼危険方向・高所カメラ映像による風向の変化など、消火活動に有効と思われる情報を指揮本部へ伝達するなど方面隊員の補助にあたり、火災は鎮圧に向かっていた。

火勢が制圧される頃には、活動隊の疲労もピークに達している状態であるため支援活動から補給活動へと移行し、活動隊員の水分補給（大型ジャグ）を幾度となく指揮本部前へ搬送しスपोर्टドリンクによる水分補給を行った。その甲斐もあってか、本火災における隊員の熱中症等による活動障害もなく現場活動を終了することができた。





補給活動

夏場はアイスバックや氷によるアイシング、活動支援車内をエアコンで冷やし休息場所とする他、長時間現場活動する隊員の一時休息場所として、クイックテントを設置、ミストによる冷却効果のあるクールボーイを活用し、体外からのクールダウンも積極的にやっている。

また冬季については、車内積載の2口ガスコンロ、瞬間湯沸器を使用しスूपなど温かいものを提供し、隊員の体力回復に貢献している。私も、火災現場でフラフラになり倒れそうになった時、活動支援車が準備してくれた「魔法の水」に救われ

た経験がある。高温下の環境での活動で、体力を消耗した隊員が交代で水分補給と一時休息にきて、コップ一杯の水分を飲んだあと、「ありがとう」と言葉をかけ現場へ戻る後姿を見ると、活動支援車特有の機能が生かされた思いである。

おわりに

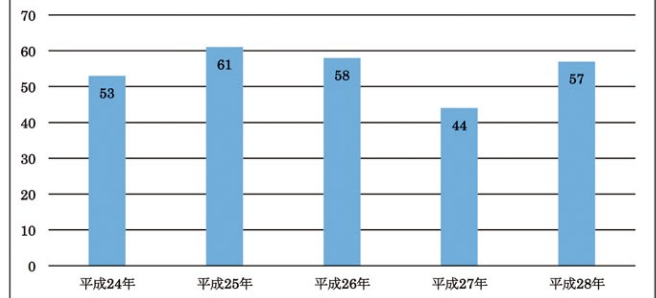
過去5年における活動支援車の出動件数を見ると、平成27年を除き、毎年50件を超える災害に出場している。更には、平成16年福井県豪雨災害、同年10月台風23号兵庫豊岡市水害、平成17年JR福知山脱線事故、平成23年東日本大震災などの災害に緊急消防援助隊として出場し、

補給活動など後方支援任務に従事している。また東日本大震災の教訓を活かし、平成26年に統合機動部隊が新設され、当局保有の活動支援車が後方支援部隊として編成に組み込まれた。平成28年熊本地震には緊急消防援助隊として

合機動部隊として出場し、被災地で活動する隊員の後方支援として活動した。今後も各種災害に出場し、指令情報センター員による指揮活動及び情報収集等の支援を積極的に行うとともに、活動支援車の機能を活かした災害現場で活動する隊員への補給など体調管理にもあたり、災害現場全体のサポート役として見守っていく。

(文責 島田)

活動支援車出動件数



活動支援車 (SC16) 諸元

全長	7,090mm
全幅	2,110mm
全高	2,790mm
乗車定員	7名
最大積載量	800kg
燃料種類	ガソリン
タンク水	200ℓ
免許証種類	準中型免許



調査 鑑識

子防部子防課

平成28年中火災子
に発生した電
レンジに起因す
る火災が3件発
生している。さら
に、火災に至ら
なかった発生故
事では28件、便
利な反面、使用
法に誤る危険が
至る。今、電気
製品の火災事例
を紹介する。

今回のテーマ

電子レンジの火災について(1)

はじめに

長かった酷暑もようやく一段落したが、これからの寒くなる季節は例年火災件数が多くなる時期であり、より一層の注意が必要である。今回は身近な電気製品である電子レンジについて紹介したいと思う。電子レンジは容易に食品を加熱できることから日常で使う機会が多く、最近では電子レンジを使って料理ができる商品等多数販売されており、使用頻度が増しているように感



じる。電子レンジは火を使わないので、安全だと思っ
ている人も多いのではない
だろうか。しかし、電子レ
ンジに起因する火災や発
煙事故が毎年多数発生し
ている。使用中の何気ない
行為が原因で、火災に繋
がることがあるので、その
危険性を認識し正しく使
用することが大切である。
今回は、日常の誤った使い
方が原因で火災に至った事
案を紹介したいと思う。

電子レンジの仕組みについて

電子レンジには、マグネ

トロンと呼ばれる真空管があり、この真空管から2450MHzの電波が庫内に放射されるようになってい
る。電子レンジで食品が加熱される原理はこの電波による摩擦熱である。
この電波はマイクロウエーブと呼ばれ、①金属に反射し、方向を変えて進行する、②陶磁器、ガラス、プラスチック、紙などは透過素通りするものが多い、③水または水分を含んだ食材や木材などにあたると、吸収されて熱になるといった特徴がある。

電子レンジの安全装置について

先に説明したとおり、電子レンジで食品が加熱される原理は、マグネトロンから出るマイクロウエーブと呼ばれる電波による摩擦熱である。そのため、仮に電子レンジの扉開放時に電子レンジが作動している
と、マイクロウエーブが庫外に放出され、人体に悪影響を及ぼす恐れがある。それを防ぐために、

電子レンジが作動中に扉を開放した場合には、電源が強制的に遮断される仕組みになるようにラッチスイッチが備わっている。ラッチスイッチは扉が閉まった際には接点が繋がり、扉が開いた際には接点が離れる仕組みになっている。

ラッチスイッチは上下(ブライマリー及びセカンドアリー)に設置されており、それぞれ同じ動きをする
が、仮に1つが故障等で接点が溶着しても、どちらか一方さえ作動すれば電源は遮断される。また、仮に両方のラッチスイッチが溶着した時のために、モニタリースイッチが備わっている。このモニタリースイッチはラッチスイッチとは逆で、扉が閉まった際には接点が離れ、扉が開いた際には接点が繋がる。そうすることで、扉が開いた状態で仮に2つのラッチスイッチが繋がった状態のままになると、ショート回路ができてヒューズを切る仕組みになっている。(図1及び図2参照)

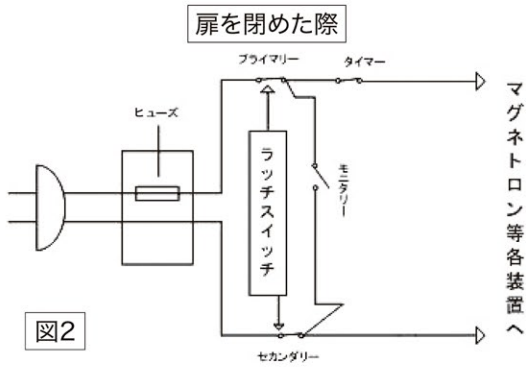


図2

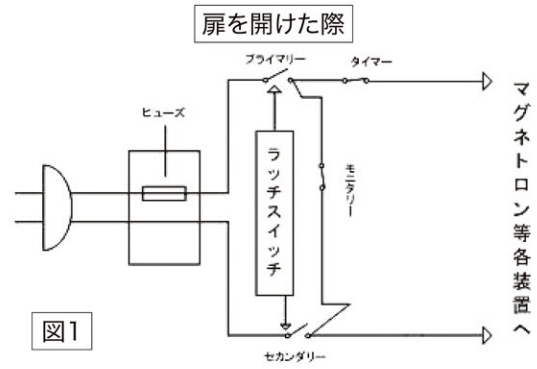
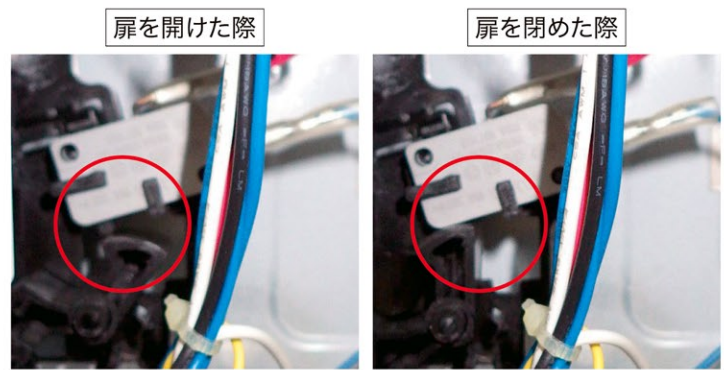


図1

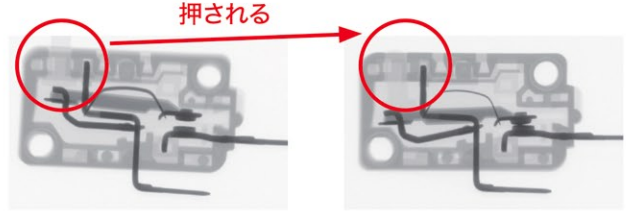
このように電子レンジには、人体に有害なマイクロウエーブが庫外に放出されない様に何重にも安全装置が備わっている。

ラッチスイッチの火災について

ラッチスイッチは人体に有害なマイクロウエーブが



この場合、回路上大きな負荷電流が流れているところを強制的に遮断することになるため、接点部分でスパークが生じ接点部が荒れる。数回の電源遮断で火災に至る可能性は低い、これを頻繁に繰り返すと、やがて接点部分で接触不良が生じて発熱し、火災に至る恐れがある。過去にも、この



庫外に放出されることになり、緊急時の安全装置である。そのため、仮に使用中に扉を開けると、ラッチスイッチの接点を強制的に離すことになる。その



表面に荒れ

ラッチスイッチによる電源遮断が原因で火災に至った事案が数件発生している。で、電源遮断はタイマースイッチを0にするか、「とりけし」ボタンで正しく遮断するように注意する必要がある。(文責 稲田)

〈次号に続く〉



～陸・水・空の三位一体救助～ (No.4)

警防課(救助)

▼ 事案概要

本事案は、大雨により増水した大和川において、男性1名が中洲に取り残され、ヘリにより救出した事案である。

▼ 覚知日時

平成29年8月1日(火)

▼ 消防隊指令時間

8時04分

▼ 消防隊到着

8時05分

▼ 救出完了時間

8時11分

▼ 所要時間

9時07分

▼ 負傷者

56分

77歳男性・脱水症

▼ 出場途上

私は「河川の中洲に男性がとり残されている。」との指令内容を受け平野特別救助隊長として出場。

指令場所付近の普段の河川状況は警防調査により熟知しており、その水深はひざ下程度で流れは穏やかである。

さらに、発生場所付近ではほとんど雨が降っていなかったため、「あの大和川の中洲でとり残されているってどんな状況やろ？」と現場の状況を想像することができず半信半疑のまま現場へ急行していた。

そこへ、先着した喜連ST小隊長から「要救助者を発見。男性1名が

中洲の木につかまっている状態との無線が入り、平野AR隊の車内に緊張感が高まったのと同時に、ドライスーツを着装しているM隊員に「到着したら、すぐに要救助者の確保に行くで！」と指示した。

▼ 現場到着

現場に到着した直後に目に飛び込んできたのは、いつもの穏やかな大和川の流れではなく、荒々しい濁流と化した大和川であった。岸から要救助者までは約20m、木になんとかしがみついている状態で、完全に孤立し今にも流されてしまいそうな緊迫した状況であった。すぐに要救助者に対し「消防隊です。助けにいきますのでそこから動かないようにしてください」とその場に留まり濁流に巻き込まれないように促した。

▼ 救出開始

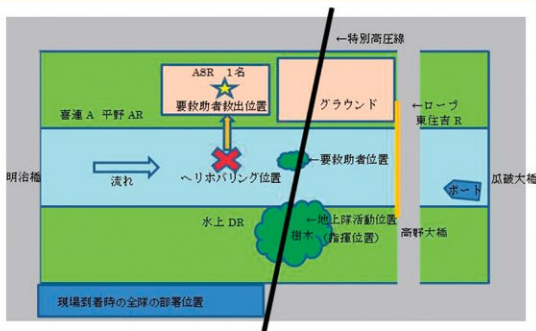
隊員が活動するには危険が伴うことは一目瞭然であったが、水位の上昇が続いており一刻を争う状況であったため、救命ボート及び隊員が入水し救出を試みた。

進入隊員のM隊員は要救助者に向かって進んでみるが、流れは立つていられないほどの勢いであり、さらに水中には上流から流れてくる流木や漂流物が多く、活動を阻まれ入水に

よる救出を断念せざるを得なかった。そこで、要救助者を直接確保しに行くことができる上空からの救助を選定し、ヘリの出場を要請。さらに、急激な水位の上昇により要救助者が流された場合に備え、要救助者の下流側に、救命ボートの着水とロープの設定を東住吉救助隊に依頼した。

地理に詳しいK隊員に、ヘリによるスライド救助ができる安全で広い場所を確認すると、「左岸に、広いグラウンドがあるので安全に要救助者を降ろすことができます」との返答があった。

(スライド救助：救助者がヘリからワイヤーで吊られて降下し、要救助者を救助資器材で縛着後、機内に収容することなく、空中に吊ったまま





移動し直近の救出場所まで搬送する手法である)
その間も水位は上昇し、要救助者の立ち位置も徐々に失われつつあり、事態は一刻の猶予も許されない状況であった。

▼ヘリ到着

ヘリが飛来し、要救助者の位置及び現場の状況を旋回しながら確認するも、ヘリの機内からでは要救助者を目視することができず、地上部隊が要救助者へ声掛けし、つかまっていた木を揺らすことによって、ようやくヘリから位置を特定することができた。

要救助者の直上には、特別高圧線があり、救出が可能か否か機長に確認すると、「気象状況、気流の状態は安定している、機体重量には余裕が

あるから特別高圧線には安全に接近することが可能。ワイヤーと高圧線との接触を回避するため電線と同等まで機体の高度を下げて活動しよう」と機長が判断したため、救出活動に着手した。機長から地上部隊に対し、「ホバリング中のヘリのメインローター（プロペラ）が特別高圧線に近づいていないかを地上で確認してほしい」との依頼があり、隊員に対し岸からヘリの安全監視を指示するとともに、「要救助者のスライド救助の位置については、左岸のグラウンドに設定する」とヘリに報告した。

▼救出完了(航空救助隊員の声)

目視できない水中でのトラブルを避けるため、ヘリから吊り下げるワイヤーは活動ができるギリギリの長さとし、機内でワイヤーを操作するオペレーターと意思の疎通を図った。

降下し着水すると、川の流れは想像以上の急流でワイヤーに体を預けながら必死に泳いで要救助者に向かった。要救助者がつかまっていた木の周りには、流れてきた漂着物が多数堆積し、ワイヤーが絡まないように、自身が挟まれないように確認しながら進み、要救助者に接触した。

要救助者に怪我等はなく、応答もすっかりしていた。救助資器材を縛着しながら、要救助者に対して救出方法と注意事項について説明し、安

心感を与えた。要救助者とともに吊り上げられる際には要救助者が抜け落ちないようしっかりと両足で確保し、上体については水没しないように両手で体位管理を行った。安定した姿勢を保ちながら

水面から10m程の高さまで吊り上げ、救出ポイントまでスライド移動し着地、平野A Rに要救助者を引き継ぎ救出完了となった。

▼事案を振り返って

今回の事案は、「陸・水・空」の立体的かつ広範囲さらに急流救助と航空救助という特殊な環境下での活動となったため困難性は非常に高いものであった。

しかし、緊迫した状況で助けを求めている要救助者を、絶対に救助するという目的のもと、年間を通して実施している「航空救助隊訓練」や「水難救助技術訓練」の成果を発揮し、各々が確実に任務に従事した結果、要救助者を安全に救出することができたのだと思慮する。



しかしその一方で、ヘリによる救出が不可能であった場合の救出方法や、河川に対する知識不足による指令段階の慢心など反省や課題も挙げられる。

▼最後に

あらゆる現場を想定し、日々訓練を積み重ねる。これは、災害現場で戦う救助隊員としては当たり前のことではあるが、今回の事案を踏まえて改めてその重要性を再認識させられた。今後さらに困難な現場であっても要救助者を安全に救助できるように、より一層の精進を重ねていこうと決意した。

(文責 澄川)

方面隊のあゆみ

創設50年を迎えて(1)

司令課

はじめに

大阪市消防局警防部司令課方面隊は、8月で創設から50周年を迎えた。本稿では、半世紀にわたる方面隊の軌跡について紹介していく。

活動及び業務

災害現場での支援及び指揮活動などを実施するうえで情報収集、活動管理、安全管理等、火災原因及び損害の初動の調査を実施するとともに、活動隊の監察及び評定を行い、消防戦術・現場指揮・安全管理について一元的に管理し、活動隊の警防技術の向上を図っている。

また、緊急消防援助隊での指揮支援隊・大阪府大隊長の活動も担っている。

主な沿革

昭和42年7月「方面隊運用要綱」が制定され、8月に1隊5名編成40名体制で発足した方面隊は、時代とともに変遷していく。昭和49年「警備方面隊設置規定」が制定される。昭和53年には、機構改革により警備課所属から司令課所属となり、この年は「指令業務自動化システム」の運用が開始される。昭和59年には、無線ファックスの積載、平成2年には自動車電話の積載と通信体制の充実が図られた。平成7年は、1隊4名編成の調査隊が各方面に配置され、火災原因調査体制の充実強化を目的に、指揮支

援隊と調査隊からなる新体制となった。しかし、各署における調査隊の強化により平成15年に調査隊は廃止され、方面隊は司令課所属から警防課所属となる。平成17年は、西方面隊に4名の日勤者を配置し方面隊業務の強化を図っている。

方面隊の再編、平成20年に、消防局の現庁舎への移転とともに方面隊は大きな変革期を迎える。方面隊として一つの所属



発足当時の方面隊服装



現在の方面隊服装

となり、従来の東西南北からなる4方面隊に加え日勤部署として「方面隊本部」を、火災調査業務について「更なる充実強化を図るため」「方面隊調査鑑識」を、そして高度な救助技術・知識・経験を合わせ持つ隊員により編成する「機動指揮支援隊」(現在の本部特別高度救助隊)を創設した。

平成21年、機構改革により「方面隊調査鑑識」は予防課へ移管。平成24年、東日本大震災を踏まえた本部危機管理体制の強化に伴う機構改革により、「方面隊」と指令課を統合し、「司令課」となり、平成28年に本部特別高度救助隊が警防課へ移管し現在に至っている。

そして平成29年8月、方面隊発足50周年を迎えた。

おわりに

方面隊は、時代とともに複雑多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するたため、消防戦術・活動指揮・警防訓練の調査研究及び企画等を行い消防隊の活動能力の向上に努め、災害と戦ってきた。しかし近年、火災だけでなく、世界的に拡がりを見



せるテロ災害や異常気象が
 猛威を振るい、南海トラフ
 地震の切迫性も指摘されて
 いるなか、これらの災害に
 対応するため、より高度な
 知識や技術の向上が求めら
 れている。
 発足して50年、先人が築
 き上げてきた戦術・技術・
 精神を継承し、消防の責務
 を尽くして、活動隊を支え、
 人材を育成し、市民の信頼
 に応える。
 そして、立ちはだかるあ
 らゆる災害に対応していき
 たい。
 次号からは、方面隊の現
 場活動について紹介してい
 きます。(文責 寺浦)

過去10年の変遷

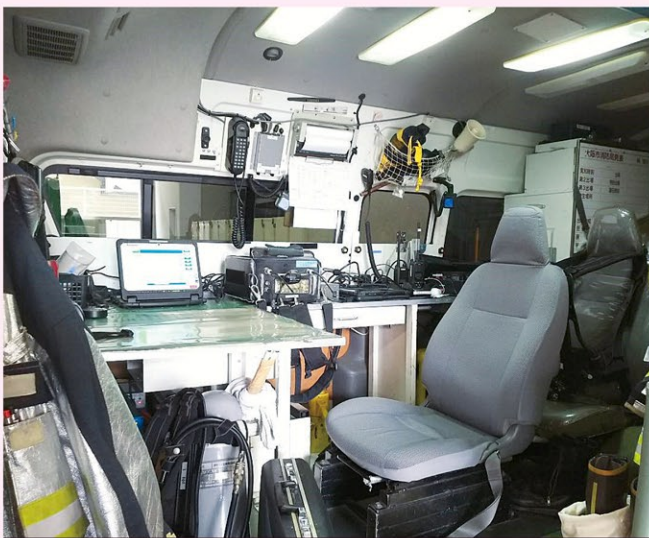
平成20年 警防課所属から方面隊として
 一所属となり、方面隊事務を総
 括する警備方面隊長(本部)(消
 防監)を置き、西方面隊長(1・
 2部)のみに警備方面隊長(消防
 監)を配置
 また、新たに方面隊本部(毎
 日勤務)・方面隊調査鑑識(毎日
 勤務)・機動指揮支援隊(隔日勤
 務)を設置、67名体制となる

平成21年 方面隊調査鑑識が予防課へ移
 管、57名体制となる

平成22年 方面隊本部が4名増員され61
 名体制となる
 「機動指揮支援隊」を「救助・
 機動指揮支援隊」に改称

平成24年 方面隊と指令課を統合し、「司
 令課」となる
 なお、方面隊は3部制の警備
 方面隊長を置き(各方面隊長は
 消防司令長)、救助・機動指揮
 支援隊と51名体制となる
 車載フックシミリを、ノート
 PCのEmailを活用した警防情
 報処理端末へ移行

平成25年 警備方面隊長を1名(毎日勤
 務)にする
 動画(ヘリテレ・高カメ・現
 場映像)を送受信できるタブ



方面隊車の隊長席

平成26年 レットを積載
 警備方面隊長を指令管制業務
 と兼任し両部に配置54名体制と
 なる

平成27年 救助・機動指揮支援隊を本部
 救助隊として設置し、本部特別
 高度救助隊として運用を開始。
 (方面隊員2名増員 56名体制)

平成28年 本部特別高度救助隊が警防課
 へ移管され41名体制となる

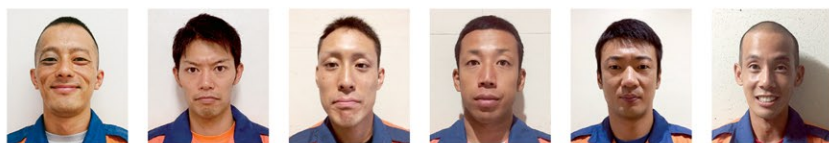
平成29年 ノートPCとタブレット機能
 を持ち合せた警防情報処理端末
 へ移行

第46回消防救助技術近畿地区指導会

出場隊員コメント

陸上の部

警防課



大林 幸太郎 坂本 亮二 井上 雄太 高桑 秀剛 中西 嶺太 津崎 将之



角田 俊浩 小谷 彰男 山下 直也 谷口 直樹 松谷 進矢 小西 純平



高橋 史英 堀川 誠二 石井 義人 津路 智之 兼平 豪 増井 佑一



松本 健 山内 良一 和泉 一秀 八木 正人 池田 直斗 一村 俊介



大槻 銀河 福原 大樹 今川 唯斗 白井 総一郎 播本 裕樹 守本 祐太



小西 勝也 北山 慧 尾崎 智 岩木 亮 山田 剛征 土崎 一真 長野 良祐 藤村 直輝



上田 卓史 中山 翔太 田中 康博 菊本 靖人 森田 聖也 西岡 昌哉 小池 一太 木下 雄支



嵯峨 慶彦

障害突破A 津崎将之(阿倍野)
 中西嶺太(住之江) 高桑秀剛(西)
 井上雄太(西) 坂本亮二(淀川)
 所属をはじめ、指導員、事務局等の
 方々の支えを受けて、常に全力で訓練
 する環境を作っていただきました。本
 当に感謝の気持ちでいっぱいです。あ
 りがとうございました。しかし勝利を
 つかむことはできませんでした。「悔し
 い」その一言に尽きます。今回の結果
 を踏まえ、チームや自分に何が足りな
 かったのかしっかりと見つめ直し来年必
 ず再びこの場に戻ってきます。そして
 結果を出し、皆様に恩返しできるよう
 に頑張ります。

障害突破C 小西純平(西淀川)

松谷進矢 谷口直樹(西淀川)

大林幸太郎 山下直也(淀川)

上司先輩、後輩達、最高の指導員の方々、最強の事務局の方々、家族。皆様のおかげで、最高の障害突破ができました。色んな事があったこの半年間は宝物です。平成29年7月22日、スタートラインで背中を受けた大声援は忘れません。

悔しい気持ちはありますが、攻めた結果なので悔いはありません。必ずあのスタートラインにもう一度戻りたいと思います。本当にありがとうございます

ました。感謝。

ほふく救出A 小谷彰男(東住吉)

角田俊浩 増井佑一(東住吉)

2年連続同じメンバーで近畿地区指導会(ほふく救出)に出場させて頂きました。昨年の経験を生かし今年こそはと約半年間、チーム一丸となり強化訓練に没頭させて頂きました。多大なるご指導、ご支援を頂いたにも関わらず、結果を残せなかったことに責任を感じています。東住吉署員皆様を始め、事務局の皆様そしてここまで一緒にこれたチームメイト、家族に感謝し、この経験を今後の消防人生に活かしたいと思います。

ほふく救出C 兼平 豪(浪速)

津路智之 石井義人(浪速)

指導員2名体制でそれぞれの番員に的確な指導のもと、3チームで切磋琢磨したことから、チーム力は飛躍的に向上しました。本番は悔が残る結果となりましたが、毎日必死でもがいて苦しんだ訓練に後悔はありません。沢山の方がこの訓練を応援してください、訓練に集中できるようにとバックアップしてくださいました。そのすべての方に感謝します。暑い暑い夏が終わりました、本当にありがとうございます。

ロープ応用登はんA

堀川誠二 高橋 史英(生野)

この種目の全国大会への切符を大阪に取り返す。この目標を達成することはできませんでした。陸上5種目制覇、A塔だけが惨敗。この結果を1日たりとも忘れることなく、必ずやり返します。

訓練が全てではありませんが、この訓練で得たものは本当に大きく、消防人として大きく成長できたと感じます。これまで支えて下さった署員の皆様、この訓練に関わる全ての方々に感謝致します。

ロープ応用登はんB

一村俊介 池田直斗(大正)

暑い半年間が終わり、「悔しい」と一言でした。本気で全国を目指し、相方に想いをぶつけ辛い時を耐え忍んで挑みました。モチベーションを維持することが苦しい時期もありましたが、応援してくださいる方達を思うと「気持ちや！」と奮い立たせました。もっとこうしていればと思うことはあります。今を妥協してはいけません。結果は奮いませんでしたが、強化訓練で学んだ強靱な精神力を後進に伝えこれからも挑みます。

ロープ応用登はんC

八木 正人 和泉 一秀(北)

勝負事は勝たなければ意味がありません。私は一年間毎日訓練のことを考え、自身の限界に挑み、家族と過ごす時間を削り、訓練に明け暮れ、応用

登はんという数秒で終わる種目のその本番の一本の瞬間にかけてきました。結果、私は勝つことができませんでした。実力が足りなかったのです。私は一年後、この場に戻ってきて今年味わった悔しさを晴らす思いでまた一年間歯を食いしばって頑張ります。その一瞬のために頑張ります。

はしご登はんA 山内良一(生野)

今回初めてはしご登はんでの近畿地区指導会の出場でしたが、勝つことができずに悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、今回の訓練に参加できて多くの人の関わりも増え、多くのことを学べ良い経験ができた半年間でした。今回の経験を生かして、これからの現場活動や消防生活を頑張っていきたいと思えます。

はしご登はんB 松本 健(此花)

この半年間の訓練はあつという間で、とても充実した期間でした。私自身が消防救助技術近畿地区指導会の晴れ舞台に立つことができたことは、一重に多くの方々に応援してくれた賜物です。不本意にも全国大会の出場権を獲得することは叶いませんでしたが、この悔しさを忘れることなく精進して、本番の一本で結果の出せる救助隊員として必ずまたこの晴れ舞台に戻ってきます。アイル・ヒー・バック!!

はしご登はんC 守本 祐太(旭)

今回の近畿地区指導会で3回目のはしご登はん出場になります。本番一発の難しさを改めて実感しました。訓練に際し、半年間に渡り支えてくださった所属の方々、家族には感謝しています。そして約半年間戦いぬいた仲間は掛け替えのない宝だと思えます。

この経験を現場、所属での訓練、業務等で活かして行きたいと思えます。

半年間本当にありがとうございました。

はしご登はんD 播本 裕樹(大正)

今回、初めて近畿地区指導会に出場させていただきました。全国大会へは行くことができず、悔しい思いをしましたが、半年間の強化訓練は非常に充実したものであり、消防人として成長することができました。それも家族、所属、たくさんの方々の支援、協力があったからこそだと感じています。今回負けた悔しさと経験を忘れることなく、次に生かしたいと思えます。

ロープブリッジ渡過A

白井 総一郎(東淀川)

近畿地区指導会強化訓練を振り返り、改めて沢山の人の支えがあって訓練ができるという事に心から感謝しています。また、共に訓練した大阪代表の方々から沢山の刺激を受け、人として消防人として成長できたと感じています。

ます。この経験をこれからの仕事に活かして行く事はもちろん、後輩に伝えていき、大消のさらなる飛躍に少しでも貢献して行きたいと思えます。本当にありがとうございます。

ロープブリッジ渡過C

今川唯斗(北)

長期間に渡り所属の皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。全国出場して恩返しができなく、申し訳ない気持ちと悔しい気持ちでいっぱいです。この悔しい気持ちをいつまでも忘れることなく、これからも全力で、一番高い頂を目指し、必ず近畿地区指導会の場に再び戻れるように今後も励んでいきます。最後になりましたが、迷惑をかけた所属の皆様、訓練にかかわった全ての方々に感謝します。ありがとうございます。

ロープブリッジ渡過D

福原 大樹(淀川)

はじめに、近畿地区指導会にあり、多大なるご支援ご協力を頂き本当に有難うございました。近畿大会に出場し、感じた事はあの舞台上に立てて良かったということです。

訓練が始まった頃は、自分が勝てるのか不安な気持ちでした。しかし、訓練に打ち込んでゆくうちに、大阪の代表として、強気で本番に挑もうと思えるようになりました。

今回、結果は負けてしまいましたが、

大阪代表として戦えた事、負けた悔しさを糧に日々精進していきます。

ロープブリッジ救出A

大槻 銀河 長野 良祐(住之江)

藤村 直輝 土崎 一真(生野)

まずはじめに、所属の皆様をはじめ、本部 指導員 強化隊員の皆様に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。私としましてはブリッジ救出は4回目の挑戦でしたが今年も全国へ行くことが出来ませんでした。ある方にお前は日常生活から変わらないうと、勝てないと厳しいお言葉を頂きました。その言葉を胸に、1日1日を大事にして自分を変えて全国の舞台に立ちたいです。

ロープブリッジ救出C

山田 剛征 岩木 亮(旭)

尾崎 智 北山 慧(西)

始まった当初、経験の少ない弱いチームでしたが4人でまとまれば必ず勝ると信じ必死で訓練を行いました。指導員にも恵まれ強いチームになることができましたが、本番は悔しい結果に終わりました。ですが、この4人で訓練ができ感謝しています。逆境からスタートしたからこそ得られたものは本当に大きなものと感じています。最後になりましたが、長期間にわたりご支援ご協力を頂いた多くの皆様本当にありがとうございます。

引揚救助A 小西勝也(平野)

木下 雄支(浪速) 小池 一太(平野)

西岡 昌哉(西) 森田 聖也(平野)

ここまでくるのに、決して楽な道ではなかったが、指導員を信じ、共に戦う仲間を信じ進んだからこそ、ここまでくることができた。全国出場とはならなかったが、我々の戦いはまだ途中であり、それぞれの想いを胸にこれからも戦っていきたい。最後に今まで励ましの言葉を贈っていただき、応援していただいたすべての方々に感謝します。ありがとうございます。

引揚救助C 菊本靖人(住之江)

田中 康博 中山 翔太(住之江)

上田 卓史 嵯峨 慶彦(東淀川)

強化訓練に参加させていただき、ご指導・ご支援・ご協力頂きました皆様、ご強化訓練に参加させていただきます。そしてこの強化訓練の中で、こんなに多くの支えてくれる人がいて、厳しい訓練を共にする仲間がこんなにも強く、応援の声がすごい力に変わるということを実感しました。結果はまだまだでしたが、本当に良い経験をさせていただきました。またここへ戻ってきたいと思えます。ありがとうございます。

水上の部



近藤 勝馬



山崎 弘之



稲永 輝之



赤松 輝一



大浦 敬之



小松 健太



吉川 将史



勝丸 大地



難波 拓人



横田 信



山口 祐樹



北川 瞬



坪田 真人



山本 祥太



寺戸 宏平

複合検索A 稲永輝之(浪速)

近畿地区指導会に今回初めて出場させていただきました。泳力が周りに比べ劣る中、また初めてのフィン競技に苦戦し、伸び悩み毎日でした。そんな中支えとなったのは、水上の部の仲間達です。この仲間達がいたからこそ、最後まで戦えました。また指導員の方々も心の底から私たちのことを思い、考え指導してくださっていたことに感謝が絶えないです。全国出場はできませんでしたが、また再び近畿の舞台上で挑戦したいです。

複合検索C 山崎弘之(生野)

今回水上の部の複合検索、溺者救助の要救助者の隊員として初めて近畿地区指導会に出場させていただきました。多大なるご支援をしていただき本当にありがとうございます。それに対して結果で恩返しできなかったことがすごく悔しいです。強化訓練では訓練への取り組み方を始め多くのことが勉強になり、心身ともに消防人として成長を感じる事ができました。この経験を今後の現場活動に活かしていきます。ありがとうございます。

基本泳法 坪田真人(阿倍野)

今大会は基本泳法が4年連続全国大会出場をかけた大会で、4連覇して大消のお家芸と言われるようにと思いい訓練に取り組みました。結果は自己へ

ストにも程遠く、全国出場まで0.23秒足りませんでした。仙台は遠かったです。自信を持って挑んだ大会でしたが、自分の気持ちの弱さ、甘さを痛感しました。そして、たくさん人の優しさ、温かさが身に染みる大会でもありました。

溺者搬送

難波 拓人 勝丸大地(都島)

今回の大会では人の繋がりを濃く感じました。職場、家族、仲間、大会で感じ、得たものは人生においてかけがえないものになると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、結果でそれを返せなかったことが悔しく、申し訳ないと思います。来年また同じ舞台上に立てるのであれば、この悔しさを糧に頂点を獲りにいきたいと思いません。

最後に、半年間支えてくださった皆様本当にありがとうございます。

溺者救助A 末松 伸朗(都島)

山口 祐樹(西成) 稲永輝之(浪速)

日本一という目標を達成するため厳しい訓練をしてきました。訓練中、思うような訓練ができず苛立ちや不安を感じる時もありましたが、隊員同士支え合い乗り越えてきました。残念ながら近畿地区指導会で敗退という結果で終わってしまいました。素晴らしい隊員と最高の訓練ができたことを誇りに思います。最後に本訓練に際して

長期にわたり所属をはじめ多くの方々にご支援していただきありがとうございます。

溺者救助B 近藤 勝馬(東成)

勝丸大地(都島) 松井 秀(西成)

強化訓練に参加させて頂いた、所属の皆様、ご指導、ご支援を頂きました。皆様に心からお礼申し上げます。万里一空を胸に駆け抜けた7か月。この訓練が全てではないが、得るものは果てしなく大きいと改めて感じました。最高の結果を残す事ができませんでした。良き指導者、良き仲間に出会えた事は我々の人生の中で貴重な財産になったと感じます。長期にわたり訓練を支えてくださいました皆様、本当にありがとうございます。

溺者救助C 坪田真人(阿倍野)

山本祥太(鶴見) 山崎弘之(生野)

昨年に引き続き全種目制覇に向けて水上の部の隊員が一丸となり、厳しい訓練を乗り越え挑んだ近畿大会。結果は思うようにはいかず、改めてこの大会で勝つことの難しさ、厳しさを痛感しました。

大会に出場するにあたり集中して訓練に打ち込める環境を作っていた所属の方々、指導員、事務局の方々に心から感謝しています。そして7ヶ月間同じ志のもと共に訓練に励んだ水上の部の隊員を誇り

に思います。ありがとうございます。

溺者救助D 寺戸 宏平(生野)

吉川 将史(都島) 榎本竜也(水上)

この度は近畿大会に出場させていただきました。今回訓練を通じて学んだこと、そしてこれからの消防人生で必要なことをたくさん学べた一年でした。勝利を手にすることができませんでした。負け学んだことを今後活かしていきたいです。ありがとうございます。

人命救助A 小松 健太(此花)

勝丸大地(都島) 横田 信(水上)

人命救助の訓練を思い返すと、本当に本番まで一瞬でした。冷静に分析し、的確なアドバイスをかけてくれる小松士長。救助者の心を読んでいるかのように動いてくれる名要救助者勝丸士長。2人と全国へ行けなかったのは非常に不甲斐ないです。しかし2人から学んだものは非常に多くあり、次の訓練、次の現場に生かしていかなければならないと思っています。最後になりましたが、応援してくださった全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございます。

人命救助B 赤松輝一(中央)

北川 瞬(住之江) 稲永輝之(浪速)

今回、個人的には2度目の近畿地区

指導会参加となり、去年と同じ種目で参加ということで訓練としてある程度完成された形で臨むことができました。その訓練の中で、今年初選出チームへの指導やアドバイスの難しさ、また近畿地区指導会で勝つことの難しさを学ぶことができました。結果としては良い形で終えることができました。したがこの経験を所属へ持ち帰り、後輩への指導や他の訓練などに生かしていきたいです。

人命救助C 難波拓人(都島)

大浦敬之(此花) 坪田真人(阿倍野)
2月の肌寒い時から約半年間、全国大会優勝という一つの目標に向かい、所属の方々に応援して頂き、訓練隊員全員で切磋琢磨しながら訓練を重ねてきました。時には、操法がうまくいかず我慢の時が続く事もありました、ですが最後まで諦めずやりきれた事はこれから続く消防人生に必ずプラスになるはずです。

この、近畿地区指導会をこの三人で戦えた事を誇りに思います。

水中結索A 寺戸 宏平(生野)
吉川 将史(都島) 横田 信(水上)

今回、昨年と同じ種目で出場させていただいたにもかかわらず惨敗し、全国の壁の高さを痛感した近畿大会でした。しかし、大先輩2人とチームを組ませてもらい、先輩方の訓練への取り組み方や消防人としての姿勢を間近

で見ることが出来たのは、何よりの財産になりました。最後になりましたが、長きにわたりご支援、ご協力、そして応援してくださった全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございます。

水中結索B 榎本 竜也(水上)

堤 勇樹(浪速) 赤松輝一(中央)
4月から訓練センターでの強化訓練が始まり、チームとしてのスタートは決してよいものではありませんでした。水中結索は団体種目ではありませんが、各々が自分のすべきことをやり遂げることが求められます。各隊員がその意識をもってそれまでよりも責任感を強く持つことよって、徐々にチームとしての状態は上向いていきました。迎えた本番では敗れてしまいましたが、「やり遂げる」というこの意識は現場にも通ずるもので、良い経験となりました。

陸上指導員 中林 勇介(東淀川)



4月に前任者の勇介に引継ぎ、近畿地区指導員として任命されました。当初は私

の様な大役を引受けてもいいのなか悩みましたが、大阪代表として頑張っている隊員達と共に全国出場を果たしたいという想いで指導員になる決意をしました。指導員の中では

各種目で連絡を密にとり、どういう方向性で指導していくか度々話し合いを重ねていました。隊員を勝たせるための「雰囲気作り」を大事にしようというのは全指導員が同じ気持ちでした。自分の受け持っている種目だけでなく全ての種目に目を配り、声をかけ、指導員から盛り上げていく。そういった事を心掛けていました。指導会本番では陸上は7種目中5種目全国大会に出場という好成績でした。ほふく救出では念願であった全国大会に12年振りに出場することができ、指導員としてはこの上ない喜びでいっぱいです。最後になりましたが、私を指導員に快く送り出してくれた所属の職員、救助担当、その他近畿地区指導会に携わった皆様この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この訓練の場に携われたことは私の消防人生の中で非常に貴重な経験となりました。この経験をこれから後輩たちに伝えていきたいと思

います。本当にありがとうございます。

水上指導員 前田 和範(水上)



今回、強化訓練水上の部の指導員を和範に引き継ぎ、指導員として任命されました。冬場から、一生懸命訓練に励む強化隊員たちの姿を見続けてきたので、私自身とてもこみ上げるものがありました。訓練においては、他種目

の通り訓練が始まるたびに大きな声をだして応援する隊員たち、絶対に負けたくないという思いで、3チーム同時スタートでのぎを削る隊員たちの姿もみられました。限られた時間をいかに有効に使うかということ、また訓練をできる喜びを感じながら訓練をすること。こういう思いで指導員として訓練の指導を行いました。昨年度の第45回指導会では大阪市消防局水上の部全種目全国大会出場という結果を残し、歴史に名を刻みました。そして今回の第46回指導会、6月から始まった三木での訓練においても、全て勝ちにいこう」というスローガンを

もって選手・指導員一丸となってい込んでいきました。指導会本番では7種目2種目が全国大会出場という結果で、昨年度の結果からは大幅に下回りました。指導員として、選手に対して、また、事務局の皆様に対して申し訳ない思いで一杯です。しかし、死に物狂いで訓練に取り組んできた強化隊員を誇りに思います。最後に事務局の皆様、水上消防署の皆様、指導員の皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

(全国大会出場者については11月号に掲載致します。)

環状線

大阪各署のホットニュースをお届けします



港

MINATO

女性防火クラブ防災研修会

7月24日、港区女性防火クラブ員39名の方々が、高度専門教育訓練センターにおいて消防体験教室を受講されました。

研修室で、都市型豪雨災害に関するビデオ鑑賞などの防災研修やオリエンテーションを受けた後、水消火器を使った初期消火訓練や濡れタオルと鍋蓋を使用した天ぷら油火災の消火訓練、今年度から導入された都市型豪雨や水圧ドアの開放、冠水路の歩行などを体験されました。そして、最後に天ぷら油火災時に誤って水をかけてしまった時に起こる爆発的な燃焼実験を見

学されました。

都市型豪雨の体験者からは、「雨がすごくて、前は見えへんし周りの音も聞こえへんかった。ホンマに怖かった!」という声があがり、天ぷら油火災の燃焼実験で燃え上がる炎を見た方は、「広いところで見ててもすごいのに、あんなことを家の台所でやってしまったら大変なことになるわ」という感想を述べられていました。

この消防体験教室で習得されたことを、是非ご近所の方々に広めていただき、防火・防災意識の高揚に寄与していただきたいと思います。(平田)



福島

FUKUSHIMA

新任教員(2年目)社会体験研修を実施!

8月7日、8日の2日間、玉川小学校の新任教員の方に対する社会体験研修を実施しました。

初日は、台風接近に伴う非常警備が発令され、研修の一部を中止しましたが、2日間にわたり、消防署における業務を体験していただきました。

特に警防業務での体験では、猛暑の中、訓練に果敢にチャレンジしていただいた。

この研修を通じて、消防への理解を深めるとともに、今後の児童に対する学習指導に役立てていただければと思います。(井上)



北

KITA

防火基準適合表示制度(金マーク)交付式

8月1日、当署において区内にある6つのホテルに対して防火基準適合表示制度(金マーク)交付式を行いました。消防法令に適合しており、正しく維持管理されているか消防機関で審査を行い、すべての基準に適合した場合において標識を交付する制度です。

今回交付された対象物は以下のとおりです。(順不同)ホテルモントレ大阪、ウェスティンホテル大阪、東横イン大阪梅田東、ホテルグランヴィア大阪、東横INN梅田中津Ⅱ、リーガロイヤルホテル。(内山)



此花

KONOHANA

西島小学校教諭社会体験

8月9日、10日、西島小学校の先生が新任教員2年目研修で当署に来られました。

1日目は、ロープ取扱い、防災工具での救出訓練及び梯子登はん、ロープ渡過、引揚救助の各訓練を体験し、2日目は消火栓や可搬式ポンプの点検整備及び放水訓練を体験していただきました。

初経験で汗だくになり過ごしたこの2日間の研修が、今後の教育活動に活かされることを願っております。お疲れ様でした。(田中)



都島

MIYAKOJIMA

リーダーの中のリーダーを目指す

7月29日、高度専門教育訓練センターにおいて「地域防災リーダー指導者講習会」が開催され、都島区からも5名が参加されました。指揮者として災害発生時の状況判断や活動方針の決定手順等を学んだ後、瓦礫からの救出や消火活動時の転進などの実践訓練を熱心に取り組みました。

今回習得された技術・知識を活かし、今後、地域における防災力向上の為に指導力を発揮していただきたいと思います。(守屋)



大正

TAISHO

3署の矢!署々間連携訓練!!

立秋とは名ばかりの猛暑の中、当署では署々間連携訓練を隣接する浪速消防署と西消防署の3署合同で実施する運びとなった。

RC造2階建併用住宅の火災を想定し、2隊が密に連携して情報収集及び人命救助・即時消火を行い、日々の訓練や現場の成果を最大限に発揮していた。これからも若年層を中心に、災害現場で安全、確実、迅速かつ効果的に消防の任務を遂行できるよう訓練を推進していく。(土居)



中央

CHUO

中央通信

当署では、署員間のコミュニケーションの一環として、職員が行う業務のこと、プライベートや趣味等の旬な出来事を取り上げた「中央通信」というものを随時配信しています。

職員同士の交流となり、配信された内容で話が盛り上がり、次は誰がどんな話題かと待ち遠しくなっています。

中央通信を通じて、和気あいあいと楽しい職場作りを目指しています。(矢野)



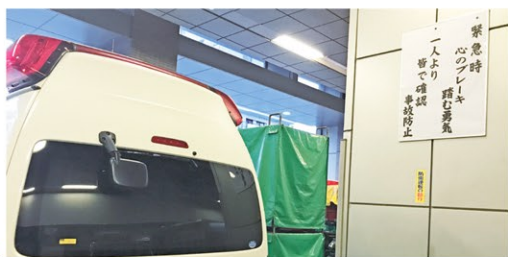
天王寺

TENNOJI

ごーしちご 心で聞いて 事故防止

当署では毎年、職員とその親族に交通標語を募集しています。これは色々な標語を出し合って交通事故防止を再徹底し、互いに注意喚起する効果があります。

今年は2作品が最優秀賞、1作品が優秀賞に選出されました。表彰作品は署内の様々な所に貼ってあるので、ぜひ見に来てください。当署はこれからも素晴らしい標語を心にとどめて無事故記録を伸ばしていきます!(中村)



西

NISHI

パパすごい!

から揚げ店の厨房で店長(パパ)が異変を感じた。「何かが燃えている臭いだ!」周囲に目をやると隣接建物にかすかな煙を認知したので、すぐさま従業員に隣接建物へ声をかけるよう指示し、自らは水バケツ、水道ホースを使用し、見事消火に成功。

火災を認知してからの躊躇なく冷静な行動は、まさに賞賛に値するものとして、後日、署長感謝状を授与した。同席されたご家族も「パパすごい!」と感心されていました。(岡井)



淀川

YODOGAWA

第46回全国消防救助技術大会

8月23日、宮城県総合運動公園において第46回全国消防救助技術大会が開催された。当署からは2名の隊員がロープブリッジ救出訓練に出場した。厳しい訓練を積み重ねて大会に挑んだ結果、見事上位入賞を果たした。

訓練で培った体力、精神力、技術力は消防活動の基本となる。今後も市民の期待に応えるよう、署員一丸となって日々訓練に励み、安心・安全なまちづくりに貢献できるよう努力していきたい。(舟坂)



浪速

NANIWA

親子サマーフェスタ

8月23日に、子育て中の親同士が安心して交流できる場の提供として、浪速区役所主催の親子サマーフェスタが開催され、当署からはミニ消防車の乗車体験を実施した。

地域の親子が集まる中、ミニ消防車の撮影中には友達親子の交流もあり、子ども達はみんなで記念撮影することができて、たいへん満足そうでした。

このようなイベントをきっかけに、消防について親子で興味を持っていただけたらうれしい限りです。(美濃部)



東淀川

HIGASHIYODOGAWA

自分たちの事業所は自分たちが守る

7月13日、当署において、平成29年度自衛消防技術練成会を実施、全16隊53名の方々が参加された。

区内各地の町会長や防災リーダーの応援の中、屋内消火栓の部と可搬式ポンプの部は接戦の末、株式会社資生堂大阪工場が優勝された。参加された自衛消防隊員の真剣な眼差しと行動に、「自分たちの事業所は自分たちが守るんだ」という強い決意が感じられ、私たち消防職員も大いに感化され身の引き締まる思いがした。(合志)



西淀川

NISHIYODOGAWA

熱いルーキー

当署に1人の新任実務研修生が配属された。「火災指令、西淀川管内、なお高所カメラ情報黒煙あり」初めての災害出場で必死に現場装備を整え出場した。

緊張感漂う火災現場、熱気と多量の煙に戸惑いながらも、消防学校で培った技術を発揮し火災を制圧することができた。初めての火災現場を経験したことで得た『たぎる思い』を胸に訓練する姿は、これからの活躍を予感させるものとなっている。(加藤)



旭

ASAHI

社会体験をさせていただきます!

7月24日と25日の両日、管内の小学校に勤務する採用2年目のフレッシュな女性教諭が、当署での社会体験研修を希望され来署。初日は阿倍野防災センター、2日目は水上消防署で施設見学と訓練体験、午後から当署で現場服装と呼吸器の着装、放水訓練を体験してもらいました。炎天下の厳しい条件の中、最後まで頑張った体験を、今後の教育現場に活かしてもらえることを確信した。(橋本)



東成

HIGASHINARI

大阪の郷土野菜

東成区花と緑のまちづくり推進委員会は、花と緑あふれるまちづくりの推進のため郷土野菜のひとつ「玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろり)」栽培による緑化事業を行っている。当署でも緑化事業の協力のため「玉造黒門越瓜」の苗を植え就業時間外に育てること2か月、副産物として立派な瓜の実をつけた。瓜は当区の公式キャラクター「うりちゃん」と瓜二つで、当区において開催された品評会に出品した。(辻田)



城東

JOTO

猛暑の中、新任先生奮闘!

8月初旬、社会体験研修として2日間6名の新任先生が当署に来られた。初日は阿倍野防災センター、津波高潮ステーションを見学して防災に関する知識を高めて頂き、指令情報センターでは119番通報の受信の見学と高所カメラや指令情報システムの説明を受けてもらった。2日目は猛暑の中、消火、救助の実技訓練、指導員の指示に対して大きな声を出し熱心に取り組まれた。訓練終了後にひとこと。「大変貴重な経験ができました。今後の教育に活かしていきます!」(平松)



生野

IKUNO

先生の職場体験

8月1日、2日の二日間にわたって、箕東小学校の教員3名が、当署へ職場体験に来られた。一日目は当署において、消火や救急救命、救助といった消防訓練を体験してもらい、二日目は航空隊で消防ヘリを見学し、阿倍野防災センターで研修を受けました。今回の職場体験で感じたことをぜひ生徒の皆さんに伝えていただき、将来の防火防災の担い手を育てられることを期待します。(藤田)



住之江

SUMINOE

警防力向上

初任科実務教育を修了し、4月から当署の新戦力として活躍している若手職員2名が、平成29年度水難救助技術訓練優勝に向けて日夜訓練を積んでいる。訓練開始当初はおぼつかなかったロープ結索、はしご固定も今では見違えるようなスピードである。管内は湾岸地域であるため、水難事案が多い特徴がある。本訓練で習得した技術、経験を災害現場で生かし、更なる飛躍を期待したい。(原戸)



鶴見

TSURUMI

水難救助訓練 !!

7月、突き刺さるような日差しの中、管内の高校のプール並びに寝屋川において、ボート組立、ボート操船、基本泳力、水難救助の訓練を実施した。当区には、「寝屋川」「第二寝屋川」といった河川が流れており、近年多発する集中豪雨や台風による水難事故の発生が危惧される中、今回の訓練を通じて、水難現場での活動方法や各隊の連携を再確認することができた。あらゆる災害に万全を期す為、新米もベテランも準備を怠らない。(米田)



住吉

SUMIYOSHI

365日の無事故!

365日間無事故であった当署に、馬場理事より表彰状が授与された。無事故での受賞は今回が初となる。当区は住民や学校数が多く、通学時間は特に安全運転が求められる。また長居西や庭井等の道幅の狭い地域では、高い運転技術が必要である。当署は、日々の走行訓練や安全運転の意識づけにより、365日の無事故を達成した。これからも署員一丸となり無事故日数を更新し、住吉区の安全・安心を守っていく。(辻本)



阿倍野

ABENO

近畿地区指導会

隊員達が、7ヵ月間この一瞬の為に苦しい訓練を重ねてきた近畿地区指導会当日、スタートラインに立った。署員の声援が、いつもより少しだけ興奮している。「いつも通り攻めていこう」号砲が鳴り、あっという間に訓練が終わった。当署では、障害突破3名、ロープブリッジ救出1名の計4名が全国出場の切符を得た。この指導会に出場した隊員はこれまでの訓練を通じて得た体力・気力を十二分に発揮し、所属を盛り上げて行く。(近藤)



西成

NISHINARI

タオルケットで搬送

8月2日、3日の2日間、医療法人山紀会山本第三病院において職員の皆さんを対象として、各日約60名に参加していただき、防火防災講話を実施した。身近な物を活用した応急処置や搬送方法等を中心とした避難方法に特化した内容で指導したところ、応急担架の説明では初めて聞く方が多かったのにもかかわらず、タオルケットと結束バンドを利用した搬送方法の説明には、交互に自分たちで作成した応急担架を使用して搬送を体験され積極的に感想を述べられている姿に、医療関係者の意識の高さに感心した。(高田)



東住吉

HIGASHISUMIYOSHI

新任教員社会体験研修

2年目の新任教員2名の方に対して2日間の社会体験研修を実施した。予防、警防、地域それぞれの担当する業務の説明や訓練体験、講話風景を見学することで「消防業務」を体感、訓練の中では地域防災リーダーにも実施しているアドバンスコースの内容も体験してもらった。大災害発生時は教員も学校の所在する地域に身を投じ、学んだことを活かし率先して様々な活動をしていただきたい。(岡)



水上

SUIJO

三機関勉強会意見交換会開催

8月25日、当署講堂において、大阪海上保安監部、大阪水上警察、当署の三機関による勉強会を実施した。

今回で四度目となり洋上の船舶火災事例研究や各機関が抱えている課題等、貴重な意見交換が行われ有意義な会となった。

近い将来発生すると予想されている南海トラフ巨大地震及び大阪港内での大規模災害に対して三機関の顔の見える関係を築き、互いの連携強化と乗組員相互の意思の疎通が図れた。(小林)



平野

HIRANO

名イラストレーターを表彰

類まれなる技術とセンスにより、火災予防啓発時に使用する写真撮影用の顔出しパネルと法被のデザインを行い火災予防啓発活動の推進に貢献した旨で、当署の小田島司令補が、消防署長表彰を受賞した。顔出しパネルでは、笑顔で顔を出す子ども達の姿が想像できる完成度。法被は、署員が着用し、イベントを盛り上げていく。今後、消防署開放デーや区民まつり等で、FULLに活用し火災予防を推進していく。(宮島)





池田市消防本部

「平成29年度 危険物等運搬車両 一斉取締り」を実施



池田市消防本部では、「大阪府危険物安全月間」に伴い大阪府、大阪府警察本部、池田警察署、近畿運輸局、大阪運輸支局、独立行政法人自動車技術総合機構と共同で、6月14日（水）市内幹線道路において「平成29年度危険物等運搬車両一斉取締り」を実施しました。

この一斉取締りは、危険物等取扱関係者の災害防止に対する意識の高揚と災害発生の未然防止を図り、市民の安心安全の確保を目的としています。

取締り対象車両については、危険物移動タンク貯蔵所、危険物運搬車両、高圧ガス輸送車、高圧ガス積載車であるため、消防法及び高圧ガス保安法の技術上の基準を遵守しているかの検査を実施しました。

また、北摂地区の6市町消防本部から実地研修として19名の参加協力を頂き、検査技術の向上を図りました。

今後、危険物等運搬車両に係る事故の発生を防止できるよう努めます。

大東四條畷消防本部

解体建物を活用した 実働訓練を実施



大東四條畷消防本部では、平成29年7月21日（金）建替えに伴う解体作業前の体育館を活用し、大規模地震による倒壊建物を想定した実働訓練を実施しました。

この訓練では、破壊可能な建物を活用することで、普段実施することが難しいブリーチング訓練や鉄扉等の破壊開放訓練、さらには救命索発射銃訓練などを実施し、災害現場での対応力と安全管理能力の強化を図りました。

訓練に従事した指揮隊、救助隊及び消防隊は、実際に建物を破壊して救出訓練を実施するとともに、保有する救助資機材を最大限に活用する方法や各資機材の特徴・強度などを検証しました。

今回、実在する建物の破壊など、実災害に近い環境で貴重な訓練を経験することができ、災害対応力の強化に繋げることができました。

今後、このような機会を活用し、各隊員の技能向上に取り組み、地域住民の安心・安全の確保に努めてまいります。



柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

私たちの職場は 私たちが守ります



柏原羽曳野藤井寺消防組合は、平成29年8月4日(金)柏羽藤火災予防協会の四部会(自衛消防隊部会・危険物部会・防火管理者部会・広報部会)主催による普通救命講習及び消防設備講習を開催しました。

この講習会は、自主防災を基本に防火及び防災意識の高揚を図り、事業所の安全を確立することを目的に平成8年から実施しており、今年で22回目の開催となりました。

午前中は普通救命講習、午後からは、消防設備に関する講習、事業所における自衛消防の目的・自衛消防活動の重要性など自主防災に関する講義を受講後、煙霧体験や消火器・屋内消火栓を使用した実技講習及び避難器具などの取り扱い訓練を実施しました。

午前、午後合わせて64事業所から168名の方が参加され、講習終了後には、改めて応急処置の大切さ、消防設備を活用した初期消火、避難誘導の重要性を職場内で話し合い、安全な事業所を目指していきますと力強い言葉をいただきました。

和泉市消防本部

大規模地震時医療活動 訓練に参加しました



近年懸念されている南海トラフ巨大地震が発生し、大阪府が被災した想定で大規模地震時医療活動訓練が行われ、泉州圏域では岸和田市中央公園に広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の設置、又岸和田徳洲会病院を活動拠点本部とし、他府県DMAT隊等各関係機関や各消防本部が参加しました。

消防側の訓練内容は、主に災害現場でのトリアージ訓練を行い、活動拠点本部では救急リエゾンとして搬送先調整を実施しました。訓練を通じて、一番苦慮したことは情報伝達や情報共有です。トリアージ訓練では他の救急隊と情報共有が十分にできず、救急指揮の重要性を痛感しました。又、救急リエゾンでは救急隊との情報伝達及び搬送先調整の際、無線での交信が建物内の場所により感度不良で交信困難となったことにより、搬送先決定まで時間を要しました。訓練の結果を踏まえ、交信手段の検討及び伝達内容を整理し、時間短縮を図り混乱状況下での迅速な活動を目指すと共に、今後も関係機関と連携し、様々な災害に対する訓練を実施し、いつ発生しても迅速に対応できるように備えていきます。

5S のススメ



探し物に大切な時間を取られていませんか？
「ムダ」を減らして、「時間」という宝を生み出す・・・

企画課

はじめに

皆さん、『5S』ってご存知ですか？

『5S』とは、『S』で始まる5つの言葉・・・

- 1 整理 (Seiri)
- 2 整頓 (Seiton)
- 3 清掃 (Seisou)
- 4 清潔 (Seiketsu)
- 5 習慣化 (Shukanka)

これら、職場環境を維持・改善する活動の頭文字をとって、『5S』です。

『5S』は、職場環境の改善を図ることによって職場の「ムダ」を減らして、生産性をアップさせるというもので、様々な業種で取り組まれているだけでなく、この日本発の『5S』は、海外でも多くの企業が取り入れているそうです。

でも、どうして、単なる「片づけ」のように思える『5S』が、海外からも注目されるような効果を生み出すことができるのでしょうか？

それでは『5S』について少しばかりひも解いてみましょう。

『5S』の起源

実は、『5S』の起源について調べましたが、工場や建築現場などで安全第一、事故防止のために用いられていた『3S』が『4S』となり、いつから『5S』となつていったなど、いろいろ書かれています。ありませんでしたが、はつきりしたことはわかりませんでした。

いづれにしても、多くの企業が、物心つくころから教わるような整理・整頓などの当り前のことを改めて『5S』と名付けてまで全従業員に徹底するには理由があります。

それは無駄をばういて利益につなげるという企業自身のためです。

しかしながら、『5S』という企業体質改善で、職場が変わつてムダが無くなれば、それは従業員にとつても働きやすい職場になります。

これを消防に置き換えると、無駄をばういて職員にとって効率よく働ける、パフォーマンスを十分に発揮できる職場は、市民の生命・財産をこれまで以上に守ることができるといふことです。

5S で 職場が変わる 自分が変わる

整理
SEIRI

不要なものは捨てる

整頓
SEITON

決まった場所に置く

清掃
SEISOU

掃除してきれいに

清潔
SEIKETSU

整理・整頓・清掃後の状態を保つ

習慣化
SHUKANKA

整理・整頓・清掃のルールを守る

まずは市民目線で

もし、あなたが、ある事業所を訪れたとき、受付や事務所がキレイに片づけられているのと、汚く散らかっているのでは、事業所に対する印象は全然異なると思いますか？

『5S』が行き届いた消防署には、消防職員としての身なりや言葉遣いと同様に、消防署を訪れた市民からの信頼感をアップさせる効果があります。

例えば、重大な災害を引き起こしかねない危険。これを放置したからといって必ずしも災害になるとは限りませんが、それでも災害の引き金になることを前提に、未然に防がなければならぬのだと市民や事業所に理解していただくことは、発生した災害を速やかに鎮圧することと同じくらい消防にとって重要な仕事です。そのためには、私たちが市民に信頼されている必要があります。悪い印象では私たちの言葉は届きません。

『5S』に取り組みむ際には、まずは市民目線で、自らの職場を見つめ直してみることが大切です。

もたらされる変化

また、『5S』に取り組みむことにより、あなたの周りでのような変化が起こるはずですよ。

あなたの周りではいらぬものが無くなり、必要なものがすぐ取り出せるようになり、きれいで清潔な環境で気持ちもウキウキ、仕事の効率が上がります。

いかがでしょう？

無駄を省くことがいかに重要かは、人命救助でコマ何秒を短縮することに慣れている皆さんには、十分理解していただける内容だと思います。夢が広がりますね。でも、これは夢物語ではありません。

まずは『3S』から

『5S』に取り組みむには、まずは『3S』からです。

◆整理:「いるものと」「いないもの」の区別をはっきりさせましょう。

◆整頓:「よく使うもの」と「たまにしか使わないもの」の置き場所を区分しましょう。

◆清掃:清掃は大切な仕事で

す。清掃を日常業務の一部としてとらえ、短時間で構わないので、毎日行いましょう。

これら『3S』ができるようになれば、残りの『2S』:清潔・習慣化で、『3S』ができている状態をキープし、みんなでクセづけましょう。

最後に

『5S』について、さまざま述べてきましたが、何より重要なのは、職員全員で取り組むことと、取組を継続していくことです。

『5S』の取組は、一部の人がだけが頑張ったからといって、効果が表れるものではありません。みんなで取り組んで初めて大きな効果が得られるのです。

また、一定の期間だけ頑張れば良いというものでもありません。「継続は力なり」毎日コツコツと、無理せず少しずつ取り組むべきものと言えるでしょう。

『みんなで一緒に一歩ずつ...』
さあ、『レッツ5S!』

(文責 西山)

市民サービス

の向上

ワークライフバランス

の推進

仕事効率アップ

異常に気付く

ムダがわかる

改善点が見える

ミスがなくなる

5Sが継続されると

「いらぬもの」が無くなり、
「必要なもの」が整頓されている

平成28年中の規制対象物における火災発生状況(3)

予防課

～前号からの続き～

消防用設備等の使用(作動)状況 消火設備

たが使用しなかった火災は73件あり、その内訳は《表2》のとおりであった。
なお、自然鎮火等の理由により消火器による消火を必要としなかったものが220件あった。

消火器の使用状況

火災の発生した規制対象物423件のうち、出火当時に消火器が設置されていた対象物での火災は398件であった。

建物に設置されていた消火器を使用した火災は130件あり、そのうち、完全消火又は延焼阻止できたものが98件で、消火器を使用した火災の75.4%であった。

しかし、使用したものの効果がなかった火災は32件(24.6%)あり、その理由は《表1》のとおりであった。

一方、消火器を使用しなかった火災は2933件で、そのうち消火の必要があつ

屋内消火栓設備の使用状況

屋内消火栓設備が設置されていた対象物での火災は81件で、そのうち屋内消火栓設備が使用されたものは5件あった。

屋内消火栓設備を使用しなかった火災は76件あり、そのうち66件は火災が小規模等であつたため同設備を使用しなかった。

一方、消火の必要はあつたが使用しなかった火災は10件あり、その内訳は《表3》のとおりであった。

スプリンクラー設備の作動状況

スプリンクラー設備が設置されていた対象物での火災は50件あり、そのうち6件(12.0%)で作動し、延焼阻止や完全消火に効果があつた。

一方、作動しなかった火災は44件あり、そのほとんどが火災の発見が早くスプリンクラー設備作動前に自然鎮火したものの又は消火器等で消火されたものであつた。

警報設備

自動火災報知設備の作動状況

自動火災報知設備の設置されていた対象物での火災は322件であつた。そのうち176件で自動火災報知設備が作動し、すべての火災において初期消火活動及び通報、避難誘導活動を促す等、所期の目的を達成した。

非常警報設備・器具の使用状況と効果

一方、作動しなかった火災は146件で、そのうち火災が小規模等の理由により作動に至らなかつたものが135件、法定警戒不要部分等の出火が8件、不詳・その他が3件であつた。

非常警報設備又は器具の設置が必要とされていた対象物での火災は61件であり、そのうち10件で非常警報設備又は器具が使用され、すべての火災において通報、避難誘導活動を促す等、所期の目的を達成した。

また、使用しなかった火災は51件で、そのうち必要はあつたが、使用しなかつた火災は12件あり、その理由としては設置してあるのを知らなかつたものが3件、あわてて使用できなかったものが1件、その他が8件であつた。

火災予防対策(まとめ)

平成28年中の規制対象物における火災発生件数は前年と比べ38件減少した。火災の発生状況の傾向は前年と概ね変わりはないものの、出火原因は前年2位の「たばこ」がトップとなり、次いで「放火(放火の疑いを含む)」、「ガスこんろ」という結果となった。

放火による火災に関しては、消防用設備等の適正な維持管理などハード面による対策のほか、防火管理者等を中心とした放火されない環境づくりなど、ソフト面においても放火防止対策の啓発を行う必要がある。

また、たばこやガスこんろによる火災については共同住宅等が大半を占めており、住宅火災の危険性やその対策について住民に対し幅広く広報を実施することが必要であり、特に自動火災報知設備の設置義務のない共同住宅等にあつては住宅用火災警報器の設置と適切な維持管理の促進を主眼とした火災予防啓発を行う必要がある。

規制対象物で発生した火災を用途別で見ると、共同住宅等が最も多く、次いで複合用途防火対象物、工場・

作業場の順となっており、この順番については、毎年大きな変動はない。複合用途防火対象物としては、多数の死傷者が発生した平成13年9月の新宿区歌舞伎町の雑居ビル火災が挙げられるが被害が大きくなった要因として、避難通路が塞がれていたことや避難訓練を行っていなかったことなど防火管理業務が適正に遂行されていなかったことが指摘されている。

防火管理の状況と火災の発生や被害の程度には、極めて深い関係があり、防火管理が適正に遂行されている対象物にあつては、階段・通路及び消防用設備等の維持管理が図られているだけでなく、防火に対する意識も高いと考えられ、火災の発生率も低くなっている。また消防訓練等により、火災発

生時の対応を習得しているため万一火災が発生した際にも、的確な初期消火活動が行われており、防火管理が適切に行われていない対象物と比較すると、焼損面積及び損害額が小さくその差は明らかである。このため今後とも、立入検査や消防訓練指導等の機会を通じて、関係者に対し対象物の用途による特徴に応じた防火管理の重要性を教示していく必要がある。

火災発生初期の段階で消防用設備等が適切に作動し又は活用されることにより、焼損面積及び損害額が小さくとどめられることは、奏功事例を見れば明らかである。一方で、消防用設備等の使用方法が分からなかった、故障していた、若しくは電源を切っていた

など、日常の維持管理が適切に行われていなかったり、消防用設備等に対して無関心である、実際に使用する人が設置場所や操作方法などを十分に理解していないといった事例も毎年見受けられ、このような場合は火災の被害が拡大するおそれがある。

消防用設備等を万一の場合に確実に作動させ又は使用するためには日常の点検をはじめ、定期的な外観及び機能点検の実施が重要である。立入検査や消防訓練指導等を通じて消防用設備等の効果や操作方法を啓発するとともに、維持管理等について不十分な対象物に対しては早期の改善を促す必要がある。

～おわり～

(文責 田中)

表1

有効に消火剤がかからなかった	9件
ダクト内に延焼し又は出火した	5件
多量の可燃物に着火急激に拡大	3件
消火設備の消火剤不足	3件
濃煙が充満していた	2件
あわてていて消火できなかった	1件
施錠のため室内進入不能	1件
出火箇所がわからなかった	1件
出火場所がわからなかった	1件
天井裏に延焼し又は出火した	1件
不適応消火用具を使用した	1件
不詳	1件
その他	3件
合計	32件

表2

施錠のため室内進入不能	13件
避難に重点をおいた	10件
濃煙が充満していた	9件
あわてていて消火できなかった	7件
施錠のため建物内への進入不能	4件
発見が遅れた	3件
出火場所がわからなかった	3件
出火箇所がわからなかった	2件
無人又は不在だった	2件
死傷した(他に人がいない)	1件
多量の可燃物に着火急激に拡大	1件
通報している間に拡大した	1件
施錠のため建物内への進入困難	1件
消火困難場所に延焼又は出火	1件
他の人に火災を通報中拡大した	1件
消火設備がなかった・義務なし	1件
自火報の発報を非火災報と思った	1件
有効に消火剤がかからなかった	1件
不詳	1件
その他	10件
合計	73件

表3

出火場所がわからなかった	2件
施錠のため室内進入不能	1件
あわてていて消火できなかった	1件
他の人に火災を通報中拡大した	1件
通報している間に拡大した	1件
濃煙が充満していた	1件
避難に重点をおいた	1件
その他	2件
合計	10件

予防部めぐり 各担当者から情報発信！ 南海トラフ地震対策の消防計画について

予防課

はじめに

「南海トラフ地震」とは、近い将来発生すると予測される日本列島太平洋沖の広い範囲を震源とする巨大地震のことを言います。

大阪市では、震度6弱以上の強い揺れに加え、大阪市の多くの地域が津波による浸水被害を受けると想定されています。

平成26年、南海トラフ地震による災害から国民の生命、身体及び財産を保護するために、「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」から「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に改正されました。改正された理由には、東海地震が発生していないことから南海トラフ沿いで東海・東南海・南海地震の同時発生を想定した対策の

＜大阪市内で消防計画に南海トラフ地震に係る津波等に関する防災対策を盛り込む必要のある区域＞

北区	梅田1～3丁目、大深町、角田町、小松原町、芝田1～2丁目、曾根崎2丁目、曾根崎新地1～2丁目、太融寺町、茶屋町、鶴野町、兎我野町、堂島1～3丁目、堂島浜2丁目、堂山町、中崎西1～4丁目、大淀北1～2丁目、大淀中1～5丁目、大淀南1～3丁目、豊崎1～7丁目、中津1～7丁目、本庄西3丁目
都島区	内代1丁目、毛馬町1～2丁目、高倉町1～3丁目、友測町2～3丁目、中野町3丁目、東野田町3～5丁目、都島北通1～2丁目、都島中通1～3丁目、都島本通3～5丁目、都島南通1～2丁目、御幸町1～2丁目
福島区	全域
此花区	北港緑地1～2丁目を除く地域
中央区	淡路町4丁目、瓦町4丁目、北久宝寺町4丁目、北浜4丁目、久太郎町4丁目、高麗橋4丁目、船場中央4丁目、道修町4丁目、平野町4丁目、備後町4丁目、伏見町4丁目、本町4丁目、南本町4丁目、宗右衛門町
西区	全域
港区	全域
大正区	全域
浪速区	芦原1～2丁目、稲荷1～2丁目、木津川1～2丁目、久保吉1～2丁目、幸町1～3丁目、桜川1～4丁目、塩草1～3丁目、敷津西1～2丁目、立葉1～2丁目、大国1～3丁目、浪速西1～4丁目、浪速東1～3丁目、湊町1～2丁目、元町3丁目
西淀川区	全域
淀川区	十八条1～3丁目・西三国1～2丁目・西宮原3丁目・東三国1～6丁目・宮原1～3丁目・宮原5丁目を除く地域
旭区	大宮1丁目、高殿2丁目、高殿5丁目、高殿6丁目、中宮1丁目
城東区	今福西1～6丁目、今福東1～2丁目、今福南2～4丁目、蒲生1～4丁目、鳴野西1～5丁目、鳴野東3丁目、成育1～4丁目、関目1～4丁目、中央1～3丁目、天王田、野江1～4丁目
鶴見区	鶴見1～4丁目、横堤1丁目、横堤4丁目
住之江区	安立2丁目・南港中4～5丁目を除く地域
住吉区	上住吉2丁目、墨江1丁目、住吉2丁目、長峽町、東粉浜3丁目
西成区	旭1～3丁目、岸里1～3丁目、北津守1～4丁目、北開1～2丁目、潮路1～2丁目、千本北1～2丁目、千本中1～2丁目、千本南1～2丁目、橋1～3丁目、玉出中1～2丁目、玉出西1～2丁目、津守1～3丁目、鶴見橋1～3丁目、出城1～3丁目、中間1～3丁目、長橋1～3丁目、梅南1～3丁目、松1～3丁目、南津守1～7丁目、南開1～2丁目

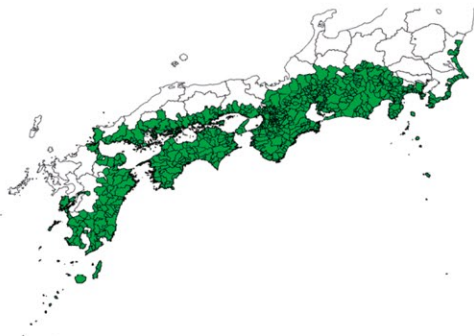
※東淀川区、天王寺区、東成区、生野区、阿倍野区、東住吉区、平野区については、該当地域はありません。

※津波浸水想定が水深30cm以上の区域について、消防計画に南海トラフ地震に係る津波等に関する防災対策を盛り込む必要があります。

必要性が高まったこと。そして、東日本大震災が想定をはるかに超える巨大な地震・津波により甚大な被害をもたらしたことから改正に至りました。この改正に伴い、南海トラフ地震防災対策推進地域が新たに指定され、その指定された区域では、大勢の人が出入りする施設等に、津波からの避難方法を定めた南海トラフ地震防災対策計画を定めることが義務付けられました。

に指定され、その指定された区域では、大勢の人が出入りする施設等に、津波からの避難方法を定めた南海トラフ地震防災対策計画を定めることが義務付けられました。

＜南海トラフ地震防災対策推進地域＞



南海トラフ地震に係る 消防計画の作成について

1 大阪市内の推進地域

前ページの表を参照

※推進地域として指定された区域の中で、津波浸水想定が水深30cm以上の区域について、消防計画に南海トラフ地震に係る津波等に関する防災対策を盛り込む必要があります。

2 対策計画を作成する必要がある施設又は事業

大阪市内の推進地域に在る施設又は事業で、防火管理者が必要なもの。

※消防法施行令別表第一に掲げる、5項口(共同住宅等)、12項イ(工場等)、13項口(飛行機等の格納庫)及び14項(倉庫)は除きます。なお、12項イであつても勤務者が千人以上いるものについては作成する義務が生じます。

3 対策計画に定める事項

消防法施行規則第3条第6項

南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第3条第1項の規定により南海トラフ地震防災対策推進地域として指定された地域に所在する防火管理者を定めなければならない防火対象物のうち、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法施行令第3条第1号、第2号、第13号、第14号及び第24号に規定する施設の防火管理者は、消防計画に次に掲げる事項を定めなければならない。

1 南海トラフ地震に伴い発生する津波からの円滑な避難の確保に関する事項。

2 南海トラフ地震に係る防災訓練の実施に関する事。

3 南海トラフ地震による被害の発生防止又は軽減を図るために必要な教育及び広報に関する事。

4 対策計画の特例

消防計画に、上記3の事項を定める。(対策計画として認められる)

5 消防署への届出

正副2部作成し、所轄の消防署へ届け出る必要がある。(文責 畑)

消防計画の届出に至るまでの流れ

南海トラフ地震防災対策推進地域の指定(※南海トラフ法第3条)

南海トラフ地震が発生した場合に著しい地震災害が生ずる恐れがあるため、地震防災対策を推進する必要がある地域を内閣総理大臣が指定

対策計画(南海トラフ法第7条)

推進地域内に存する事業所等は津波に関する防災対策を講ずるべき者として、南海トラフ地震防災対策計画(対策計画)を作成しなければならない

対策計画の特例(南海トラフ法第8条)

消防計画等(消防法施行規則第3条第6項)において南海トラフ地震防災規程を各所管法律に基づき作成すれば特例として対策計画を策定したとみなして適応される

消防計画を所轄消防署に届出

※「南海トラフ法」＝「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」

建築基準法施行令 「特別避難階段の構造」 について ～昇任試験対策編～



キセイカ ナビ vol.52

From 予防部規制課



皆さん、こんにちは！今回のテーマは、建築基準法施行令に規定されている「特別避難階段の構造」についてです。

問題を解きながら、一緒に勉強しましょう！

問題

問 建築基準法施行令第123条第3項に規定する特別避難階段の構造に関する記述について、() に当てはまる適切な語句を記入してください。

- 第123条第3項 特別避難階段は、次に定める構造としなければならない。
- 1 屋内と階段室とは、(①) 又は (②) を通じて連絡すること。
 - 2 屋内と階段室とが (②) を通じて連絡する場合においては、階段室又は付室の構造が、通常の火災時に生ずる (③) が付室を通じて (④) に流入することを有効に防止できるものとして、国土交通大臣が定めた (⑤) を用いるもの又は国土交通大臣の (⑥) を受けたものであること。
 - 3 階段室、バルコニー及び付室は、第6号の開口部、第8号の窓又は第10号の出入口の部分(第129条の13の3第3項に規定する非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供するバルコニー又は付室にあっては、当該エレベーターの昇降路の出入口の部分を含む。)を除き、(⑦) で囲むこと。
 - 4 階段室及び付室の天井及び壁の室内に面する部分は、仕上げを(⑧) でし、かつ、その下地を(⑨) で造ること。
 - 5 階段室には、付室に面する窓その他の(⑩) 上有効な開口部又は予備電源を有する(⑪) を設けること。
 - 6 階段室、バルコニー又は付室の屋外に面する壁に設ける開口部(開口面積が各々1平方メートル以内で、法第2条第9号の2口に規定する防火設備ではめごろし戸であるものが設けられたものを除く。)は、階段室、バルコニー又は付室以外の当該建築物の部分に設けた開口部並びに階段室、バルコニー又は付室以外の当該建築物の部分の壁及び屋根(耐火構造の壁及び屋根を除く。)から(⑫)センチメートル以上の距離にある部分で、(⑬)部分以外の部分に設けること。ただし、第112条第10項ただし書に規定する場合は、この限りでない。
 - 7 階段室には、バルコニー及び付室に面する部分以外に(⑭) に面して開口部を設けないこと。
 - 8 階段室のバルコニー又は付室に面する部分に窓を設ける場合においては、(⑮) を設けること。
 - 9 バルコニー及び付室には、階段室以外の(⑯) に面する壁に出入口以外の開口部を設けないこと。
 - 10 屋内からバルコニー又は付室に通ずる出入口には第1項第6号の(⑰) を、バルコニー又は付室から階段室に通ずる出入口には同号の(⑱) を設けること。
 - 11 階段は、(⑲) 構造とし、(⑳) まで直通すること。
 - 12 建築物の(㉑) 階以上の階又は地下(㉒) 階以下の階に通ずる特別避難階段の(㉓) 階以上の各階又は地下(㉔) 階以下の各階における階段室及びこれと屋内とを連絡するバルコニー又は付室の床面積(バルコニーで床面積がないものにあつては、床部分の面積)の合計は、当該階に設ける各居室の床面積に、法別表第1(イ)欄(1)項又は(4)項に掲げる用途に供する居室にあっては(㉕)、その他の居室にあっては(㉖) を乗じたものの合計以上とすること。

解答

答え

- ① バルコニー
- ② 付室
- ③ 煙
- ④ 階段室
- ⑤ 構造方法
- ⑥ 認定
- ⑦ 耐火構造の壁
- ⑧ 不燃材料
- ⑨ 不燃材料
- ⑩ 採光
- ⑪ 照明設備
- ⑫ 90
- ⑬ 延焼のおそれのある
- ⑭ 屋内
- ⑮ はめごろし戸
- ⑯ 屋内
- ⑰ 特定防火設備
- ⑱ 防火設備
- ⑲ 耐火
- ⑳ 避難階
- ㉑ 15
- ㉒ 3
- ㉓ 100分の8
- ㉔ 100分の3

ポイント！

建築基準法施行令第123条第3項第1号及び第2号は、平成28年に法令改正されました！
(平成28年1月15日公布、同年6月1日施行)

特別避難階段の構造に関する問題が、平成28、29年の昇任試験に出題されているよ！



淀川区 塩野香料株式会社生産本部自衛消防隊

塩野香料株式会社は、1808年(文化5年)に塩野屋吉兵衛商店として創業を開始され、1929年(昭和4年)に塩野香料株式会社を設立。1933年(昭和8年)に大阪工場を淀川区に竣工されました。

企業理念として、「誠実」な香り創りを芯に、香りと香味を通して人々の生活に豊かさや潤いをもたらすことを使命と考え、創業から200年以上を経過した現在においても時代に合った商品を創り続けておられる、歴史と伝統のある会社です。

淀川自衛消防協議会には1970年(昭和45年)に参画、現在は会計監事として予算運営、執行に携わっていただいております。



また、消防訓練を定期的に実施されており、自衛消防技術発表会に毎年参加、昨年度も優秀な成績を収めるなど、防火防災意識を非常に高く持つておられ、淀川区の防災力向上に多大な貢献をいただいております。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
藤原 祥智

危険物取扱事業所である当工場では、定期的な消火・避難訓練やリスクアセスメント等を実施しています。自衛消防隊は積極的に若手を加え、複数部署のメンバーで構成し、事業所全体の防火・防災意識向上に努めています。



女性 防火クラブ

だより

都島区

都島区女性防火クラブは、身近な家庭から「防火・防災」を進めるため昭和58年に結成された「アクアリーメンバー」を前身とし、平成3年に「都島区婦人防火クラブ」更に平成14年「都島区女性防火クラブ」と名称変更し現在に至っています。

当クラブは古山代表、8名の地区委員を中心として防火研修、AED普通救命講習、市民消防教室参加などの実践的な研修を実施するとともに、春・秋の火災予防運動における火災予防広報活動にも貢献されています。

クラブ員の方々は女性防火クラブとしての活動のほか、日頃から地域におけるボランティア活動に積極的に参加される方も多く、それぞれの活動を通じ顔なじみになり、いざという時にも横のつながりが防災活動に役立つと期待されています。

これからも「地道に一步ずつ、防災を家庭から」を合言葉に地域防災の心強い応援団としての活動を推進します。





初倉 優司

参集署 浪速
平成26年3月退職

1 消防士になったきっかけ

次々に仲間たちの進路が決まり、学生生活を終わろうとする時期に私自身は未だ将来の方向が定まっていなかった。当時は卒業後就職が当り前であり、内心かなり焦っていたところ消防士採用試験が実施されることを知り、すぐさま飛びついた。これが天職である消防士になっただけでなく、たぎっかけであった。

2 前線に出て救助隊員として

生野消防署に配属され、ポンプ隊員が救急隊員が救助隊員か、どれにあこがれるといった余裕は全くなかった。とりあえず毎日が火災、救助といった現場に出場し、無我夢中で何をしたのかも覚えていなかったように思う。

そのような時に先輩から、まず自分で作戦図（管内地図）を作れと言われた。出場経路、消火栓、信号、目標建物等々を書き入れる。これを作っているうちに管内全体が分かったような気がした。現在はアンシン（車両動態管理システム）という消防独自のカーナビが各車両に装備されており、操作要領等を習熟することにより複雑化する災害現場において消火活動や人命救助活動にハード面とソフト面を両立させて即戦力として

効果を上げている。私達の時は、オリジナリティーであり、地道な作業を重ねながらモノ作りをしてきたと言える。やがて新任時代を終え救助隊員として現場経験を重ねていきました。

一方では救助訓練に明け暮れる毎日、そして全国大会で優勝したことが一番達成感を味わった瞬間でした。私の青春時代のすべてを救助に捧げたように思います。

3 後輩へ伝えたいこと

現場活動は、自己の安全無くしてその目的を成し遂げることができない。その為には常に知識及び技術の研鑽に努めること。またメンタル面においても徹底して自己管理（コントロール）がなされていなければならないこと。特に休日や非番日などは十分な休息と、リフレッシュが必要で。

仕事をすることで後輩に伝えたいことは、※人に期待をしないこと、言いかえれば

教えてやったのに、してやったのにかは思わないこと。
※仕事はやらされるのではなく、自分の意志でやるもの。
※常に問題意識を持って仕事に取り組むこと。さもなければ自身及び組織の向上はない。※これから指揮者として幾多の困難な現場を経験することでしょう。指揮者は常に何を優先するのかを素早く正確に決断しなければならぬ。そしてその作戦はシンプルなほど良いと私は思います。

4 定年まで頑張れたのは

私が無事定年を迎えられたのは、理解ある上司、良き先輩、同僚の皆さまのご指導と私を支えてくれた後輩の皆さまのお陰です。浪速消防署で定年を迎えるまでの間、私は本当に恵まれた環境下で有意義な消防生活を勧めさせていただき感謝の気持ちで一杯です。

最後に、私の家族に心をこめて「本当にありがとう」。

健康ダイアリー

総務部 人事課



健診結果を活用しましょう！

健康診断は、生活習慣病などの早期発見、早期治療に役立ちます。基準値内の人でも、健診結果をより有効に活用するために、以下のことを実践しましょう。

1、検査数値の経年結果を見る

年に一度は健康診断を受け、各検査の項目が過去からどのように推移しているのかをチェックして、自分の体の変化を確認しましょう。また、健診結果はファイルに綴じるなどして保管しておきましょう。

数値の変化や推移を知ることも大切！

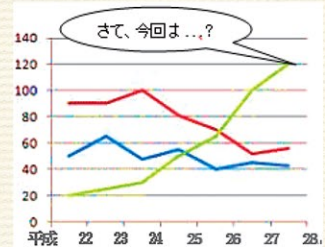


2、動脈硬化リスクの重複をチェック

検査項目1つずつ見るだけでなく、複合的に検査項目の結果を見て、肥満・高血圧・脂質異常・高血糖などの動脈硬化リスクが重複していないか否かもチェックしましょう。

3、検査数値の原因を自分なりに振り返る

検査結果がよかった人もよくなかった人も、なぜよかったのか、なぜ悪かったのかの原因を自分の生活習慣から見つけましょう。悪かった人はそれを改善し、よかった人はそれを継続するよう心がけましょう。



4、家族歴と合わせて数値の変化をみる

生活習慣病は、長年の生活習慣の積み重ねが原因で発症する病気ですが、遺伝の影響も強いことが明らかになっています。血縁者が、どういう病気で治療中か、亡くなったかなどを把握しておく、自分がどういう病気になりやすいか原因がわかります。

5、生活習慣の改善成果をみる目安にもなります

これまでの努力の効果を確認し、あらためて医師や保健スタッフに相談するきっかけになります。

6、「早期発見、早期治療」のチャンス！

要精密検査、要治療と診断された方は、なるべく早く医療機関へ受診しましょう。

※数値は正直です。検査結果を受け取ったら、まずは自分の行動を振り返り生活改善されることをおすすめします。また、再検査や精密検査、治療が必要とすすめられた場合は、病気の可能性も強く疑われますので、放置せずに必ず受診しましょう。

今年も職員体力測定の時期がやってきました。

ここ数年の体力測定の結果から、50歳台以上の長座体前屈・反復横とび・立ち幅跳びの記録が国民平均と同等もしくは下回るという状態が見られます。敏捷性・柔軟性・瞬発力の強化を目的とした正しい測定方法及び記録アップのコツを、これから3か月集中連載します。

長座体前屈(ハムストリングと腰部の柔軟性)



1 足を伸ばして座り、背中が壁につける。両手を真っ直ぐに伸ばして計測器の上に置き、手前に引いて0に設定する。

2 息を吐きながら体を前屈させて、計測器を移動させた距離を計測する。

* 反動をつけるのはNG!
腰痛の原因になります。

記録はどうでしたか？ (評価は平成28年度分・単位はcm)

評価	男性	女性
平均	43.59	45.22
5	64以上	65以上
4	50以上64未満	52以上65未満
3	37以上50未満	39以上52未満
2	24以上37未満	25以上39未満
1	24未満	25未満

上位記録

100cm: 28歳男性
95cm: 32歳男性
80cm: 男性5名・女性1名

好記録目指して
まずはストレッチから!



好記録のコツ

計測前に最低1分以上の前屈をする。前屈がしんどい人や血圧が高い人は座位で。



普段のトレーニングに柔軟性強化プログラムを取り入れましょう。

座位の体勢は計測時と同じになります。膝の上の後ろあたりをつっぱらせるのではなく、**股関節から体を折り曲げる気持ちで**体を前屈させましょう。

お腹が足に近づいていればOKです。これをゆっくり息を吐きながら行い、もうこれ以上無理というところでさらに息を吐きます。

庁内ポータル: 所属グループウェア(消防局) ⇒ 消防局共有情報 ⇒ ○高度専門教育訓練センター ⇒ 体育訓練マニュアル(H18) ⇒ 時間別・目的別プログラム ⇒ 柔軟性強化プログラム

親睦会だより

大阪市消防職員親睦会

平成29年度 親睦会ポウリング大会結果

平成29年度親睦会ポウリング大会が8月2日(水)、「弁天町グランドボウル」において開催されました。結果については表のとおりとなっております。

優勝	東成支部A	2394点
準優勝	阿倍野支部	2292点
第3位	水上支部A	2267点



平成29年度親睦会ポウリング大会実施結果

順位	支部名	トータル	ストライク/スパ	備考
1	東成A	2394	56 / 43	優勝
2	阿倍野	2292	42 / 55	準優勝
3	水上A	2267	47 / 44	第3位
4	東成B	2135	39 / 46	
5	鶴見A	2100	41 / 42	5位飛び賞
6	住吉A	2093	38 / 48	
7	平野	2076	39 / 48	7位飛び賞
8	西淀川	2061	39 / 41	
9	大正A	2048	39 / 39	
10	港B	2034	37 / 46	10位飛び賞
11	城東	2004	31 / 40	
12	住之江B	1979	31 / 43	
13	住吉B	1957	30 / 43	
14	水上B	1957	32 / 42	
15	大正B	1896	31 / 41	15位飛び賞
16	住之江A	1894	34 / 38	
17	鶴見B	1885	31 / 35	
18	生野	1872	31 / 40	
19	警防・救急	1869	28 / 38	ブービー賞
20	港A	1859	34 / 33	

参加状況	13支部	114名	20チーム
ブービー賞	警防・救急支部		
5位	鶴見支部A		
7位	平野支部		
10位	港支部B		
15位	大正支部B		



大阪めぐり 表紙絵

慶沢園(けいたくえん)

慶沢園は、住友家の第15代吉左衛門が茶臼山本邸の庭園として、1908年(明治41年)に木津聿斎の設計。平安神宮神苑、円山公園、大原三千院等の名園を手掛けた高名な庭師である第7代小川治兵衛(植治)が手掛けた。

慶沢園の名前の由来は伏見宮貞愛親王から賜った、「照代之恩恵、祖先之余沢」から「恵澤園」としていましたが、1918年(大正7年)に庭園完成に合わせて現在の「慶沢園」に改められた。

大らかで勇壮な造りが特徴の林泉回遊式庭園で、池の中央に浮かぶ大小3つの島、黒松を配した中島や岩の様子は大海を彷彿とする大池を中心に、山のような変化に富んだ地形を造り、全国から集められた名石や楠、榎、あらかし等200種類の様々な木々が植栽されて都会の真ん中に居る事を忘れさせてくれる。

1925年(大正14年)に住友家本邸が神戸に移転したことで、隣接する旧本邸敷地(現・大阪市立美術館)並びに茶臼山と共に寄贈された。現在は、1936年(昭和11年)に開館した大阪市立美術館と共に天王寺公園に組み込まれて、一般公開されています。

編集室



稲の穂が黄金色に変わる実りの秋。テレビのニュースでも案山子のお話が続いてくるように、奈良県の明日香村には身長6mのジャンボな忍者姿の案山子が田んぼを守っている。大ききから、作るのには勿論、据え付けるのも大変だっただろうと考えてしまう。

先日、生まれ故郷の平野周辺を「大阪消防」の表紙の取材に歩き回った。子どもの頃に遊んだ大念佛寺の伽藍の大きさに圧倒されたのを昨日の様に思い出した。久々に訪れて、改めて風格を感じた。生家は跡形もないが、向かいにある杭全神社にも久々にお参りをした。境内の巨楠は相変わらず元気で、樹齢1000年、樹高30m、周囲10m。大阪府指定天然記念物に昭和24年5月9日に指定されたと石碑に刻まれてをり、生まれた年の娘の誕生日と同じ日というのに、親近感を覚えた……。



神戸港の遊覧船に乗船時のガイドの話。青果物専門の荷揚げエリアのくだりで、ある野菜は、日本で栽培がオフの時期に南半球で栽培し輸入され、日本で分別され店頭にならぶ。国内の○○地方でできたものは○○特産、遠路はるばる海をわたり、○○地方で選別された野菜は○○特選と命名されているらしい。15年

(高)

大阪消防

平成29年10月号 第68巻第10号 通巻第811号
 発行 大阪消防清風会
 企画・監修 大阪市消防局
 編集 大阪市消防局企画部企画課内
 大阪消防編集部
 〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
 TEL 06-4393-6036
 FAX 06-6582-2864
 Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp
 年間購読料 年間4,560円
 (消費税・送本手数料含む)
 制作・販売 株式会社サイネックス



近く前、中部地方に旅行の折、そばの名産地にある土産物屋でそば粉を手にとると、外国産で驚いたのを思い出した。

朝夕が少し涼しくなってきた。近所の田んぼでは稲刈りが始まっている。緑一色に染まっていた田が、稲の実が入るころから黄金色に変化していく様は壮観である。稲刈りも様変わりしており、昔は刈った稲を天日干ししていたが、最近ではほとんど見かけなくなった。コンバインの普及で、稲刈りと脱穀が瞬時にできるそうである。便利な機械ができたもんだと感心させられる。

(隆)

(正)

大阪市防火管理協会からのお知らせ

販売図書のご案内



防火・防災管理のススメ
~消防手続編~〔8訂版〕

【内容】

- 防火管理者、防災管理者必携の各種申請・届出の実務書
- 防火管理、防災管理に関する特例認定申請や各種届出を、「いつ」、「どこに」、「どのように記入」して提出するのか、を具体的な記入例で掲載。

また、建物の使用や用途変更、催し物の開催、露店等の開設などを行う場合の届出についても記入例を掲載しています。

A4判 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

お問い合わせ・お申し込み先

(一社)大阪市防火管理協会

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11

TEL:06-6741-2130 FAX:06-6712-2130

SCHEDULE

防火・防災管理講習日程表

甲種防火管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00~16:00

回数	開催日
第28回	平成29年11月 6日(月)、7日(火)
第29回	平成29年11月11日(土)、12日(日)
第30回	平成29年11月29日(水)、30日(木)

甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市消防局

講習時間：14:00~16:00

回数	開催日
第8回	平成29年11月14日(火)

防災管理新規講習

講習会場：大阪市消防局生野分室

講習時間：10:00~15:30

回数	開催日
第13回	平成29年11月 8日(水)
第14回	平成29年11月22日(水)

防火・防災管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00~17:00

回数	開催日
第18回	平成29年11月 9日(木)、10日(金)
第19回	平成29年11月20日(月)、21日(火)
第20回	平成29年11月25日(土)、26日(日)

防火・防災管理再講習

講習会場：大阪市消防局生野分室

講習時間：14:00~17:00

回数	開催日
第9回	平成29年11月17日(金)

参加無料

平成29年度 防災講演会

「阪神・淡路大震災の教訓は活かされているか。」

日時 平成29年11月16日(木)
午後2時30分～午後5時00分(午後1時45分開場)

場所 NHK大阪ホール



- 内容** オープニングイベント
- ウェルカムコンサート
 - 大阪市消防局救急応急手当実技
 - **第一部 演奏** 大阪府警察音楽隊
 - **第二部 防犯教室** 「特殊詐欺の被害にあわないために」大阪府警察本部 生活安全指導班
 - **第三部 講演** 関西国際大学副学長 グローバル教育推進機構 教授 **齋藤 富雄**(さいとう とみお)氏

申し込み方法

- 「はがき又はFAX」で
 - ①氏名②年齢③性別④郵便番号⑤住所⑥電話番号⑦同伴者氏名(3名様まで)を明記のうえ、〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目5番5号 谷三会館ビル5階 一般社団法人 大阪府防災通信協会 まで
 - 募集期間は10月2日(月)から ● 募集定員は**先着800名様**定員になり次第締め切ります。
 - 応募は**1通4名様まで**に限ります。
 - 入場整理券の送付をもって参加者とさせていただきます。● 入場整理券は10月下旬ごろに発送する予定です。
 - ご応募いただいた個人情報は、この目的以外に使用いたしません。
- 問合せ先：一般社団法人 大阪府防災通信協会
TEL 06-6947-0246 FAX 06-6947-0052 (土・日祝を除く 午前10時～午後5時まで)

主催：一般社団法人 大阪府防災通信協会 / 後援：大阪府・大阪市・大阪府警察本部・公益社団法人 大阪府防犯協会連合会



ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪キタなら

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



★エレベーター新設! ★リニューアル改装!

ご晩酌・ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪市北区曾根崎 2-1-9
梅新 お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

大阪ミナミなら

都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪市中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

二次会なら...

グランドラウンジ **ミス大阪** 大阪市中央区千日前2-7-16 電話(06)6643-1210

ヤングラウンジ **ザ・フレッシュ** 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6644-1313

ナイトラウンジ **ミスパール** 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6643-1220

ミスパール **昼ラウンジ** 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6643-1220

鳥よしグループ 本社 大阪興業株式会社 〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16
 鳥よし共栄株式会社 電話 (06) 6643-2233・6644-1044